京城日報

本紙定價 一ヶ月七十五錢 ▲郵税 ▲參ヶ月前金 ▲六ヶ月前金 ▲壹ヶ年前金
廣告料金 七號十五字詰一行八十錢 ▲三號九字詰 ▲二號 ▲四號 ▲六號
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 振替京城三〇〇番

七月十日夕刊（朝夕併せて八頁）

◎獨大使暗殺

莫斯科駐在の獨逸大使ミルバッハ氏は六日突如二名の兇漢に襲はれ爆彈にて暗殺されたり（ストツクホルム電報）

◎對露策急變

獨逸の對露政策に急變の兆候ありと觀取さる（ストツクホルム電報）

◎トロツキーの言

『露國領土は獨逸に占領せしめよ』トロツキーは日獨兩國の露國領土占領に關する利害關係を述べて曰く、寧ろ獨逸をして占領せしむるに如かず、是獨逸の社會的革命を惹起するの利益あればなりと（莫斯科電報）

◎警講開校式

警講習所開所式は八日午前九時開催、水野内相、平沼檢事總長、岡田總監等臨席道岡所長、水野内相等の告辭あり同十一時散會（東京特電）

◎再立會停止

大阪堂島解合は目下談議中なるも解決困難にて九月又立會を停止せり（大阪特電）

▲立會開始か

大阪堂島解合困難にて毎日變り行く小田原評定若し解合不成立となるらば増證を追徴して十日は立會開始すと云ひ居れど不明なり

◎化學食料品

獨逸にて發見せるもの

歐洲戰局以來獨逸に於ては食料品缺乏補充の爲武器以上の取扱ひを以て獨逸の各學者に依り研究せられ數十種副食料品發見せらるゝに至りしが現今廉價肥料として多量に市場に出さるゝ大豆油粕の如きは單に肥料として重きを爲すのみなるが脂肪を含有し居るを以て是に化學融解分離法を施す時は低廉なる蛋白質を得られ大豆油粕製カセインは牛乳カセインより一層費用を要せず又獎種油粕の含有蛋白質は全く殆んど無脂肪の油粕中より水を以て溶出せしむるを得然る後普通の蛋白質の如く低溫度に於て乾燥すれば營養品を得る事となり胡麻油粕より同一方法に依り製するものは品質稍佳良にして椰子油粕及落花生油粕よりは消化し易き可溶性蛋白質を得べし棉實油粕よりも蛋白質を得らるゝも強き色素と不快の氣味を除外せば萬屬子油粕は動物の飼料たらしむる方法も發見され居れりと（大阪）

◎在支那外商

各國商人の消長

戰前に於ける在支外國商店數は總計二千五百九十八軒にて使用人は十五萬三千七百九十九人に上り其内英人商店六百五十六軒使用人五萬一千二百卅一人獨商店百十八軒二千四百七十人佛商店百廿軒千九百廿五人に對し日本商店は千三百廿九軒使用人八萬五千百六十人を以て第一位を占め其外露、伊、墺、和蘭、西班牙の商店約廿軒あり然るに戰局に入りて獨商の激減を始め英佛の商人も著るしく減少し露商も亦然るが之に反して日本の商店は獨英佛の衰退に乘じ其發展目覺しく現在は二千百八十餘軒使用人十二萬八千六百七十人に達し戰前に比し四割增加の盛況なり而して本邦商店は上海大部分を占め漢口、天津、厦門、奉天、大連、濟南、青島、宜昌を始め南方には香港、廣東、芝罘、福州方面にも散在するも南支は極めて少く英佛獨の勢力衰退せる今日本邦商人は南支發展の要あるべしと

◎北海道鐵山

稀有の盛況

北海道は金銀銅鐵硫黄其他石油等を産し未だ開拓せられざる遺利多き爲め第一二流の礦山業者は一昨年來入活躍中なるが出願者激増せる中にも住友久原の出願は最も多數にて伯仲し最高位を占め三井三菱藤田高田の活躍も目覺しく三井は三菱其他の權利を繼承し益々事業の擴張に力め特に久原の大規模なる探險隊は北海人の注目を引きたり住友は嚢に鴻舞金礦を買收し從來の礦山事業を統一する爲札幌に住友鑛業所を設置したり其他北海道には歷々の礦山成金多く一々列擧する迄もなく從來稀有の好況を呈し居れりと

◎大阪より

▲清酒依然伸惱

前月中頃閑散を持續せし清酒は月替に至り更に活氣引立たず賣行も甚だ不振を極め市況漸次に引緩み中元見込も壜詰位の賣行にて頽勢引立たず飛切物は品薄保ち合の狀なるも其外何れ石五圓乃至十四五圓方下押し當分伸び惱み保合の狀なり

▲毛斯綸又高値

大手筋の買占益々盛んなる爲め手持薄の折柄市況益々手堅く又一錢乃至二錢五厘方の一躍高となり品に依りては七八十錢飛騰せり

▲生糸硬軟睨合

生絲界は米國の情報商價餘りに騰貴すれば或は一部制限せらるやも測り難しとの事にて一時人氣稍落付の狀となり信州上一番手六百五圓の高値は目下千五百五十圓にて驛運び物には武州格附千六百圓甲州九十番千五市七八十圓にて取引は手合多からず一日四五萬斤乃至六七萬斤の手合せなるが著瀨の市場物は昨今一時に解消良好にて日程進み横濱市場へ一日二千個以上の出荷あり入荷の增加は買手の弱味なれば先高見越の賣惜みも強からず一方買の狀なりと

方は相應景氣を擁するも今は一寸去就に迷ひ強弱兩派睨み合ひの狀なりと早晩破壞せらるべき運命にあるべきものと云ふべく夫かあらぬか勢の相場該値上の反響皆無にして取引値段は依然として普通過燐酸一圓六十錢を唱へられつゝあるは之が個中消息を表明し居れるものにあらざるか

▲人肥値上前途

既報の如く過日關西人肥聯合會を大阪門座に開き原料燐礦石の高價なるに反し製品過燐酸の相場安きため並に通並に強過燐酸とも一斤に付き二十錢方の損失を爲しつゝある當面の窮境を脱すべく普通過燐酸を一圓七十五錢に強過燐酸を二圓に販賣價格を即日より引上實行することゝなりたるが之が前途に關しては從來協定價格を制定することも何時の間にか破壞せらるゝの實例に徵すれば

▲伊太利綿織物

伊太利は昨年は船腹其他の關係輸入減少したるを以て政府は輸出を制限したるも綿業者二箇年續き好況にて制限あるに拘はらず英佛瑞西に輸出し戰爭の爲め失ひしも歐洲方面の輸出は增加せり七月其巳の前等方面は之を十分に補ひ内地消費減小せしも婦人側の需要增加し依然好況の狀なりと

◎鮮銀の低資融通

十年以内に農銀の滯貨は整理されん……殖銀に何等不安なし

某有力當局者談

朝鮮殖産銀行に統一さるべき六農工銀行中小安農銀並に漢湖農工銀行には前經營者に失當の措置ありしため約百八十萬圓の固定貸あり（二百萬圓なりしも本年に於て廿萬圓を償却）右滯貨の整理如何は新殖産銀行の前途に若干の暗影を與ふるものとして一般より注意されあり總督府當局にては此點に大いに意を用ゐ嚢に山縣政務總監は農銀滯貨整理方針の確立を聲明し居れるがその整理の内容に付責任ある某有力當局者は曰く

▲新殖産銀行

の前途に若し之云ふも差支なし何となれば政府は殖銀の成立と共に直ちに用來す農銀滯貨約百八十萬圓の整理は日の六農銀に貸下げ居れる百四十五萬圓を殖産銀行に無利子にて運用せしめ更に現農銀の積立金六十萬圓は之れを直ちに殖銀に引繼ぐを以て也、然れども當局にてはコレを以て十分なりとせず政府の無利子貸下げ

▲百四十五萬圓

並に積立金は滯貨の引當てとして之れを保留し政務總監の聲明せし如く別途の整理方針を確立せる也その方針は朝鮮銀行より極めて低利の資金二百二十萬圓を殖産銀行に貸附けその運用をなさしむるにあり殖産銀行が右二百二十萬圓の運用による一年間の利鞘は最低約十萬圓を得る勘定となり居れり而して之れ第一年にして第二年には前年生み出されし十萬圓が低資に合せられ二百卅萬圓となり更に運用を繼くる譯にて斯くして十年間を經ば優に百五十萬圓を得べし此の金額に現六十萬圓の積立金を加算せば

▲滯貨の整理

は完濟せらるゝ譯なり而已ならず現在二農銀の固定貸は主として土地にして土地の自然增加を見込めば滯貨の實額は現に著るしく減少する事となり居り更に今後朝鮮の發展に伴なふ土地の騰貴は自然的にその濫仕を削減し行くべしと云ふも決して不可ならず加ふるに前述鮮銀低資二百二十萬圓の運用利殖も甚だ低利に見積りて之に付彼是の採算を正當になさば滯貨實在百八十萬圓の完濟整理は今後五年間に出來すべし予等は確信し居れり世上此點に疑惑を抱き兎角

▲殖銀の前途

を論ぜんとする者あるは事情に迂なるためならんも予等の提ふる遺憾に堪へざる所殖銀の前途は洋々春海の如く何等の不安なきなり

◎拓殖局長官總督府訪問

有松拓殖局長官は十日午前九時園田書記官及び局員同總督府に山縣政務總監を訪問せる後工藤總務課長の案内にて廳内を巡視し十時過辭去す

▲總監晩餐會

山縣政務總監は十日午後七時より朝鮮ホテルに入京中の有松法制局長官を招待晩餐會を催す事は既報の如くなるが當日は園田書記官宇佐美内務部長官持地遞信局長古海務總長關屋學務局長久水外事課長荻田總務局長高橋武官大塚參事官河内山主計課長森安稅士國分司法部長官、大田理事久保鐵道管理局長時永第二課長工藤總務課長松永京畿道長官渡邊高等法院長豐永工業專門學校長遠藤秘書課長立花憲兵隊長大沼副官等二十七名出席す可し

▲觀察日程

有松拓殖局長官の京城仁川觀察中確定したる分左の如し

▲十日（午前中）專修學校、總督府裁判所、總督府醫院、中學、職業專門學校、附屬病院▲十一日（午前）苑（午後）中央試驗所及び工業專門學校、京城醫學專門學校、附屬病院、西大門小學校、高等普通學校、普通學校、幼稚園（午後）東拓、農工銀行、陳列館▲十二日午前九時五分南大門驛發同十時十五分仁川驛着仁川觀察の後午後二時五十五分仁川驛發同四時五十分歸京▲十三日午前七時十分南大門驛發午後一時五十分元山着以後の日程は追つて決定の筈

◎蠶業係技師

十時應次郎氏任命されん

朝鮮の蠶業發達に伴ひ從來本府農務課蠶業係の定員（技手一名技師二名）にては到底總ての計畫及事務の處理を爲し能はざる爲め豫て技師一名技手一名の增員を計畫しつゝありたるが豫算の關係上技手は來年度に繰延べ技師一名を增員する事に決せしが近く農商務省技師十時應次郎氏（高等官三等）任命を見る可し

◎暑休と通牒

本月十一日より九月十日迄の間に

於て諸官衙に暑中休暇を賜はる旨仰出されたる事は既報の通りなるが右に就き山縣政務總監は十日附各所屬官署長宛事務に差支へ無き限り職員に三週間以内の休暇を與へ差支無く職人にも勤務の都合を見計らひ一週間以内に於て休暇を與ふるも差支無き（寫字生を含ます）旨通牒を發せり

◎辭令（四日附）

兼任總督府編修官　總督府視學官　上田駿一郎

敍高等官四等

内務部學務局編輯課勤務を命ず　從七位　相川富三郎

任京城中學校教諭（七等）

◎見習講習開會

永樂町法政研究會に於て十一日より開催せらるべき判任官見習講習會講習員は京城内在勤者は勿論各道より派遣せられたるものは十日中に全部參集す可きを以て愈々十一日午前八時より開會式を擧行する筈にて當日は多分山縣政務總監の訓示に次で宇佐美内務部長官よりも一場の訓諭あるべし

◎補助員俸給規定

十日附總督府令を以て判任官補助員規程中改正公布せられたるが右は從來の補助員は其他の指揮監督を受け勤務に服するものとし俸給は七等給十一圓六等給十一圓五等給十七等給十一圓五等給十一圓三等給十四圓二等給十五圓一等給十六圓特別給十八圓とし本年四月一日以後の月給に就き之を適用し即日施行の事となれり

◎電信線故障

八日來鮮内各地の豪雨のため朝鮮内に於ける電信線の障碍を聞くに九日午前京城咸州線京城新義州線京城光州線は何れも不通となり京城木浦線も通信困難その他故障少からざる如し又東京京城線も釜山各務局致院間に於て不通となりしに付直ちに京城平壤線を代用せしに依つて普州行電信は延著を免れ難し

▼甚しき延著

平素の約十倍

昨今東京京城間の電信延著は甚だしきものあり乃ち平素至急電報約一時間のもの約十時間を要し普通電報二時間乃至三時間のもの二十時間乃至三十時間乃ち平素の約十倍の經過時間を費しつゝありその原因は屢報の如く朝鮮及び滿洲と内地間六線の通話中佐世保大連線京城下の關線の二線不通となり殘餘の四線にて通信しつゝあるため輻輳甚だしき事並に電報通數殊に至急電報の增加の過勞等にあるべきが現狀如何ともし難しと尚ほ京阪以外の各地との朝鮮の電報延著は一層遲延しつゝあるものゝ如し

◎殖産銀行設立彙報

▼京都の應募

早くも六百十株

朝鮮殖産銀行の株式募集は十六日より十八日までなるも便宜上期日前にも取扱ふ事となり居れるが募株の事の知れ渡り京都にては早くも八日第一銀行京都支店に對し六百十株の申込ありし旨京都支店事務所に入電あり此分殖銀募株應募の第一着なりと

▲鮮内の嚆矢

鮮内主要銀の本支店にては屢報の如く既に殖産銀行株式募集の便宜取扱ひをなす事となれるが鮮内申込みの先頭は九日朝鮮銀行本店の扱ひにかゝる三十株なり

▲前景氣好況

京都にての第一着に六百餘株の申込みも意外としつゝあるが殖銀事務所にては大連方面より一千株の申込み委託を受け居れる由にて一般實業家其他有志の希望もあり殖産銀行の定期預金を殖銀株に乘り換へんとする者少からざる如く前景況は頗る盛んなものあるに似たり

◎市場統一を等閑にせず

某當局者談

京城中央公設市場設置に關し京城府當局の一人は語つて曰く抑も京城に公立市場を經營する事は當然たる京城府の事業にて他の諸事業に屬すべき性質のものにあらざる也京城府に於ける

▲市場の整理

統一問題に就ては既に京城府中央市場設置に關しては既に京城府及び京畿道に於て此が社會的必要問題なりとし之が必要を認め官民に大正五年度より着々として實現に向つて調査研究の歩武を進めつゝあり京畿道は大正五年七月二十九日附を以つて京城府に對し中央市場問題に關し下記の如き四項に就いて通牒を發したることとなり二府内市場の現況並に今後五箇年間に於て十一市場あるを以て此際少くとも將來五ケ年に於ける

▲計畫を豫定

するの必要ありと府は之に對し如何なる方針を在するや其の經營せんとする市場の種類年度及び方法（二）大正六年五月十五日を以て許可期限滿了する日の丸水産株式會社市場及び京城魚市場は許可期限滿了後は市場規則第二十六條の規定に依らずして府に於て之を經營するを適當と認むるを以て本年五月進達せられたる京城魚市場經營及び監督者に關する件は現に京城魚市場の許可期間滿了の節は大正六年五月十五日迄を限りとし許可することしたし之に對する意見（三）前項市場の經營方法並に一年間

◎京城商況金融

鮮銀營業課調査六月中の京城商況金融左の如し

▲米穀市場

前月來引續き内地相場の奔騰と在荷薄及び先高見越等は益々米價をして其の高潮に達せしめつゝありしが依然外米輸入季節並に政府の調節等の諸原因に依る内地米の暴落に作ひ仁川定期は約七十丁の暴落を來せるも正米市場は依然從來の高値を維持しつゝ越月せり

▲滿洲特産

大連埠頭に殺到せる野積大豆の頻々たる火災による被害は遂に保險會社の契約解除宣告となりために同品を擔保とする金融の途全く杜絶し各當業者は之れが善後策に苦心考究中にして未だ適確なる解決の途を得ず從つて今猶ほ同品の停滯商談不調は免れざる結果たるべし從つて鮮内同品の取引に至つても滿洲安に押され各地氣配弱らず取引極めて閑散なり

▲綿糸布牛皮

は内地相場の持ち直しにつれ氣配強硬を示しつゝありと雖も目下不需要期なると目先相場の豫想氣迷ひにより仕入を手控へしめ荷動き極めて閑散を免れず在荷の如きも例年に比し約三分の一に低減するに至れり

▲金融平靜

一般商況前述の如きを以て金融の狀勢は上半期決濟期に相當せる一時的需要としては殆んど平靜にて殷盛を極めし牛皮もその輸出を杜絶し且つ時節柄材料薄の爲め殆んど荷動きなしと雖も染物並に綿糸に對する者等により多少色めきたる傾きありしも金の移動少く金融平靜の裡に上半期を終れり

◎鮮銀支店新設申請

朝鮮銀行にて濟南天津の兩地に支店を設置する事となり居る事は屢報の如きが右申請書は此程脫稿總督府に提出する事となりたりと

◎各農銀配當

四農銀は一割八分

各農工銀行上半期の配當は目下決算の上總督府に申請中なるが全州慶尚光州咸鏡四農銀は普通配當年八分臨時配當年一割又漢湖農銀並に平安農銀は年六分強に決定すべし

◎連絡切符厘位切捨

内地と朝鮮滿洲間の連絡割引乘車船券發賣は十六日より從來厘位を錢位に切上げみたるが切捨つる事

◎五州鐵道の認可

全南慶南全北の三道に亘る

昨年十二月神戶鈴木商店京城支店長小出正三氏外六名の發起に係る全南慶南全北忠南四道に亘る五州鐵道株式會社認可申請の件は總督府鐵道部より務總監部へ回付されありしが八日開總督の決裁を經て認可せられたり然るに同軌鐵道は最初の計畫を縮小され慶南全南北三道に亘る合計二百三哩四十八鎖にて公州へは至らざる事となれり即ち馬山を起點とし晋州、河東、求禮、谷城、潭陽、光州を經て松汀里に出て湖南線に接續する百五十七哩及び一方谷城の北方院村より分岐し南原、任實を經て全州に至る四十六哩四十八、鎖合計二百三哩四十八鎖の線路にして軌間は二呎六吋の設計にて之が資本金六百萬圓而して之が着手期竣工期豫定左の如し

▲第一期線――松汀里潭陽間、潭陽院村間――大正八年秋着手同十年春竣工

▲第二期線――院村南原間、郡北晋州間――大正十年秋竣工

▲第三期線――全州南原間、晋州河東間――孰れも大正十年秋着手同十二年春竣工

▲第四期線――院村河東間は同十二年秋竣工

▲收支見積額

及び設備の狀況許さゞるあり或は附近建物の取除け或は敷地高くして地均しの工事に多額の經費を要する等を以て決定するに至らず其後東大門附近或は京城日報社及國有地其他を撰定、面積實地測量、周圍の事情、鑑案、發展の餘地等に關し熱心調査研究を怠らず現今に及びしもの定せしも或は府の中央を遠ざかるの虞りあり將來擴張するに四圍の狀況許さゞるあり

繁概算額（四）府に於て經營する市場は其の種の如何に拘はらず可成之を一箇所に統一し即ち中央市場を設置して經營するを便宜と認むるに應ずる適地の有無並に其の位置面積、京城道は叙上の如き通牒を發し之に對する京城府廳の意見を徵し爾來京城府にては之れが計畫の大本を定めて約六千坪の面積を見積り府内に於ける無償貸付可能地及び國有地全部買地に就いて調査し或は本町通り東前茨城病院

▲位置の佳良

こ運搬其の他の便宜とを兼ねる南大門附近等を其の候補地として詮

▲敷地の決定

を見るに至らば本問題解決に一步を進むべき筈にて決して府當局は市場問題を等閑に附し居る者に非ざる也にて既に市場設立に關する實行委員を設けて東奔西走の時代に入れるを以て

◎全北輕鐵開通

水害の爲不通となりしも全北輕鐵裡里全州間は十日午前開通せり

◎松平理事消息

南北滿洲視察中の松平東拓理事は十一日奉天より大連に出で旅順訪問後十四日大連發京城に來るべし

◎府尹郡守會議終了

京畿道府尹郡守並に各府郡財務係主任會議第三日は十日午前八時より開催午前中に於て開催午後三時閉會終了せり

◎府尹郡守懇親會

十日午後打合せ事項等あり前記の如く閉會後赴き鮮人側實業家老人楔等の發起に係る京畿道府尹郡守懇親會は九日午後七時鍾路明月館支店に於て開かれたり席定まるや趙子爵發起人總代として内鮮兩語を以て開會の挨拶を述べ是に對して松永道長官謝辭を述べ闇高陽郡守之を通譯し次いで長官は新任内地人郡守藤澤水原、山崎開城の兩氏を紹介する所あり宴に移りたるが餘興として妓生の舞踊等ありて散會したるは午後九時出席者八十名盛會を極めた

◎臼井辯護士出張所

辯護士臼井水城氏は今回鮮人方面に發展する事となり氏は八日平壤に出張同地旭町四丁目に事務所を開設せるが毎月七日間は同地に滯留訴訟事務を執る可しと

◎加藤社長引返

加藤本社長は九日午前八時四十分南大門發東上の途に上りしも平澤附近より列車不通の爲同日午後九時引き返し歸京巴城館に入れり

謹告

本日小生儀汽車不通に付出發延期仕候處通知不行屆の爲め多數御見送を忝うし感謝の至りに堪へず汽車開通次第不時出發可仕何れ歸東の上御挨拶可申上候得共不取敢紙上を以て感謝の意を表し申候敬白

七月十日　阿部充家

廣告料金改正

來ル七月十六日ヨリ五號活字十五字詰ニテ

定價金壹圓也ニ改正仕候

改正後ハ總テ行數ハ五號活字ヲ標準トシテ計算致ス可ク候也

大正七年七月十一日

朝鮮新聞社
京城日報社

次無佛翁留別之瑤韻卻呈送東歸一首　權藤九洲

文章報國復誰疑。光被新韻答留時。君去酒詩緣未了。天涯應有夢魂馳。

來後忽誰覺我疑。奈何人事又天時。風霜四載心於此。更向中原試騁馳。

次無佛先生高韻送東歸　服部江南

高義誰能擣群疑。正議先生得意時。未了仙緣惟此在。韓山風雨附車馳。

人事往來

▲平山正氏（釜山中學校長）十日附七日間の豫定にて學事視察の爲め慶尚北道管内大邱慶州兩方面に出張

▲村地元山府尹　十日朝出京

▲深澤鎭南浦府尹　同上

茶前酒後

◎支那は在露同國人の爲なりとて物資を露國に送りつゝありと

◎而も其物資が棉花毛布脂肪油脂其他獨逸の絕對必要品なるは怪しからぬ

◎支那の輸出禁止は解除されしものゝ之が果して支那人丈の手に渡るや否や

◎元來支那の輸出禁止は東方に於て獨逸に對する完全なる封鎖の爲めなり

◎支那側にては物資缺乏せる在露支那人の必要に應ずる爲と主張す

◎然ども物資は入苦突を通過して露人側に逹つゝあるが如しとは奇怪

◎若夫之をして事實とせば人を馬鹿にした話し聯合國は默すべからず

◎混亂に乘じ早くから六十萬圓を注込み戰後の對支策段に頭を惱む者あり

◎拔目無き商賣柄を發揮し敵と取引をして儲けんとするものある世也

◎上下を著て左樣然らばと四角四面に構へ居れば結局は澁面を作ろ

◎面で笑ふて心に泣ての裏を行く

◎當世手練手管は女郎耳に非ず

◎珍しく日本にも婦人參政權運動者現はるお轉婆連の大喝采を受ん

◎姓は林、名は駒子淺草の女優也

◎日英兩文の機關雜誌を米國で發行

◎日本では駄目だから自由な米國でやるとの氣焰に自家廣告には妙也

◎米國の老嬢や轉婆連は大に歡迎せん之を看板に一芝居打てば儲らん

◎博多聖福寺専門道場師家龍淵東堀和尚は從來止戰の爲めに和偶數千枚を

◎衆生救濟の祈願も願くは獨帝にも利かず戰爭は何時迄も依然繼續す

◎和尚功を焦て七十の老軀自ら伯林に赴き獨帝を說破せんと決心

◎先以て弟子の白禪自隆に獨英語を仕込みつゝありとは飛だ茶番狂言

◎雨季に入り鐵道の不通は例也行て見てから行かぬは不親切の極

◎通不通は大體模樣に依て前知し得る者旅客の迷惑甚し方法を考よ

温突が見たい長官

◇一瞥あの小さい低い家の中に何が入つてゐるか

滿洲の邦人義勇兵が二百餘名

九日夜入京した法制局長官兼拓殖局長官有松英義氏一行のためには特別列車が[illegible]に聯結けてあつてそれに出迎への荻田局長や不破鮮銀や安藤京管や足立殖産や新聞記者などが乗り込んで賑はつてゐた、長官は人々を對手に絶ず

◇ニコ〳〵し乍らも談話が肝腎な所に行くと常に急所を外してゐた、それでもその話の一節には『サア西伯利亞の形勢もどうなりますかね、私のハルビンに行つた時滿洲で募つた邦人義勇兵が何でも彼これ二百餘名セミヨノフ軍に參加するため滿洲里方面に行きよつた』『とか『私のハルビンを退いた二日後にコルチヤコフ將軍が

◇ハルビン から南下して日本に行つた』ハルビンで彼を求むれば私もあへたであらうが』など云ふ話もあつた、足立東拓を顧みて『耕地整理の必要を說いたりする『どうも見る所水田一枚の面積が小さいぜ、大に整理をせぬと』足達氏は水利事業が先で耕地整理はその後でせう、内地も此頃物になつた位ですからなど、應對してゐる、鮮屋を見ては『京城でぜひ田舍の

◇温突を見 たい、一瞥あの小さい低い家の中に何が入つてゐるか、霧島に行けば見られるかね滿洲で高粱飯を喰ひたいと思つたが遂にドコでも喰はして呉れなかつた、張作霖氏によばれた時

◇高粱飯は ないかと聞いたが恰度品切れとの事でガツカリしたよ』などゝいつてゐる内に龍山に着くと久保理事のニコニコ顔がすぐ車中に現はれた(一記者)

氾濫する朝鮮の河

雨水の半分は河に流れ込む　それは山に立樹が尠いから

鮮の河は一度豪雨が來るとひとたまりもなく氾濫するそして堤防を決潰し田畑を浸し鐵道を破壞し家を流し人畜を損ふ每年斯うして蒙る損害は決して尠くない實に呪ふべきは朝鮮の河である數日來の豪雨、河水の氾濫から來た各地の被害は既報の通りであるが夫れにしても

◇朝鮮の河は 何故斯う氾濫する のであらうこれは言ふ迄もなく山々に樹が尠い爲め雨水が悉く河に流れ込むからである、專門家は調査したものはないが先づ五割は動かぬ所であらう十の雨が半分河に流入するとすれば中々大したもので山に樹の必要なことは之れでも分る治水の要は治山に在りとは此處のことで山に樹を植ゑると云ふことは朝鮮開發上焦眉の急務と言はねばならぬ

◇東宮仙臺へ　青葉城御成

八日東宮殿下には仙臺市中を御視察宮城縣廳、師團司令部、青葉城天主臺、宮城野に於ける諸隊聯合演習等御見學ありたり(仙臺特電)

雨水が河に流れ込む歩合を流入計數と云つてゐるがこの流入計數は地形及び地質の如何、雨前の狀況

◆降雨の時間 等に依つて非常なる差異がある即ち傾斜の緩急、立樹の粗密、乾濕の度合、降雨時間の長短に依つて差等がある譯であるが普通森林は十の降雨に對して一割乃至二割六分、禿山ならばその五割が流入するものとなつてゐる日光森林測候所の調査によると同

◆森林の流入 計數は五分乃至二割五分と云ふ事である、朝鮮はまだ

汽船坐洲　夢金浦沖にて

神戸三洋汽船會社所有汽船にて當時鎭南浦中村組扱ひなる波津丸(七百十九噸)は七日午後六時鎭南浦にて無煙炭七百噸を積込み山口縣德山に向け航行中八日午前十一時頃黄海道夢金浦沿岸にて

▼▲濃霧 に襲はれて淺瀨に乗り上げ船底に小破損を來たし應急修理中にて乘員及び積荷等には異狀なき旨九日朝中村組に入電あり中村組にては急遽一隻の

▼▲帆船 に三十名の人夫を乘込ませ汽船保安丸に曳かせて現場に向け急行せしが滿潮の際には多分浮揚の見込みありと

運轉手慘死した電車　走りつゞける　車掌停車法を知らず

九日朝大阪發京都行電車運轉手大井晋作は運轉臺より車外に半身出し居たるため電柱にて頭部を粉碎し墜落慘死したるより電車は運轉手無く走り續くるに折惡く乘務の車掌停車法を知らざるためその走るに委し危險なりしが遂に乘客中の福本某これを停車せしめて幸ひに大事なきを得たり(大阪特電)

師範放火犯人發狂

福岡師範の放火犯人綱脇行光(二十)は收監後發狂せしを以て右事件の公判は延期さる可し(福岡電報)

肺結核療養所燒く

九日午前十一時刀根山肺結核療養所出火建物五十八坪を燒失し鎭火せり(大阪特電)

暴風雨 ＝各地被害

八日より九日に亘る暴風雨にて其の後判明したる各地方の被害狀況としては

▼麻浦浸水多し 漢江增水二十二尺

漢江は龍山元町にて九日午後六時十五尺六寸、同八時四十分十八尺、同十一時二十一尺、午後十二時二十二尺の增水を示し元町四丁目の浸水六百戶麻浦は三十五戶と倉庫二十二棟の浸水家屋あり

▼長湖院大半浸水

京畿道利川郡長湖院憲兵駐在所管内清渓川は九日增水七尺に及び長湖院里の住家大半浸水せり

▼交通杜絕 京畿道加平邑内より同郡南面及び沐道里間と清平川より縣里に通ずる道路は道路破損の爲め九日交通杜絕せり

▼新延江增水廿三尺

京春街道新延江の增水十日午前九時二十三尺を示し九日以降自動車及び郵便遞送杜絕せり

▼十日復舊 全北にては全裡間の輕鐵三禮德津間線路浸水しめあり

列車の中で一晝夜

福溪驛で立往生した相撲一行

◇京元線水害 ―焚出しで眠を凌す

京元線の水害狀況を視察し來れる某氏の談に依れば

◆京元線 三防高山間に一個所と三防洗浦間に一個所被害があつたが後者は洗浦から第六號隧道北口の山側で始め五十坪許り土砂が崩壞し第二回は九日未明に四十坪許りの山崩れがあつた幸ひ未明であつたから列車に故障は起らなかつたが之がために八日午前七時十分京城發の列車は福溪驛で立往生した、同列車には元山乘込みの東京大相撲一行百十餘名が搭乘して居たので福溪驛は急に焚出しをするやら應急工事に着手するやらで大混雜を來した相撲一行と普通客約三十名は九日午後まで約

◆一晝夜 餘りの間列車の中に閉ぢ籠められて居たのでさなきだに亂暴狹の多い力士連は處嫌はず跳廻つたり噪がし合つたりするので驛では大迷惑をして居たやうであつた焚き出しは八日朝四斗午後五斗九日も二回したが

◆相手が 相手なので喰ひ馬力の強いのには驛員も悄いてゐた鳳は何かの都合で京城に居殘つて居たから立往生の憂目は見なかつたが千葉ケ崎は這々の體で京城に歸り其他にも二三歸つたものがあつた殘りの者は貨物列車の中へ

◆風呂敷か著物を敷いて寢た居るさうに轉がつて居たが流石に樓遊たるものであつた、開通したのは九日午前十一時五十分京城發の列車からで電信も之と前後して復舊した

▼忠南地方被害 復舊の見込み

て九日朝より運轉不能となりしも翌十日には復舊開通の見込み

忠南にても八日以來の豪雨にて各河川增水し鳥致院公州間公州論山間は道路破損し自動車不通となり九日鳥致院を發したる郵便物は燕岐より引返せり又天安温泉里間禮山青陽等の各地方何も交通杜絕せり

▼鐵橋梁破損 大同江增水廿一尺

平壤にては七日夜よりの豪雨にて大同江增水廿一尺に達し平壤勝湖里間の寺洞炭坑線鐵橋は九日午後廿二本破損して列車の運轉中止せり復舊迄に一週間を要すべし

▼浸水百戶

倘全義鳥致院間も鐵道破損し九日午前十一時より汽車不通となり全義は川の北岸堤防決潰したる爲め浸水百戶に達したるが人畜には死傷者なし

開通十一日朝か　京釜線被害　極力復舊工事中

八日夜來の豪雨にて鳥致院平澤間の線路數箇處に決潰流失あり大田より人夫四百工夫百名を急派し極力復舊工事に努めつゝあるも列車開通を見るは十一日朝となる可し北行列車は鳥致院迄全通するも大田の各旅館は何れも滿員也(大田特電)

京仁間往復　五割引切符　海水浴客のため

七月十一日より九月十一日まで南大門往復切符五割引は十回券となり使用は本人若くば家族僕婢使用日は日曜若くば祭日途中下車不可(級覗はよし)にて二三等のみに定めあり

平澤平野水漫々

京釜線の被害は既報の如くであるが水害の甚だしいのは平澤鳥致院間三十四哩餘で就中全義小井里間平澤成歡間を橋梁や線路の

◆崩壞した 箇所が多いので復舊工事が完成するのはどうしても十一日の南行急行列車からであらうと思ふ今日の處では北は平澤南は鳥致院で折返し運轉をして居る一の瀨驛長曰く平澤方面は土地が低いので平野一面

◆水漫々 として居るさうである元來朝鮮の河は河床が高いので水が氾濫し易いそれがために京釜線などは水害の苦しい經驗を年々苦めて居る處から改修工事に多くの經費を擲つて居るが流域が

◆氣紛れ に變化するので水害を全く除く事の出來ないのは遺憾だ

豚を鶏にして賣る肉屋

▽奸商に注意せよ

近來京城市中の内地人肉類小賣店にて鶏肉に豚肉を混入して販賣する奸商あることを本町警察署にて探知せり鶏肉と豚肉とは一見酷似し其の色合ひ等も素人には容易に

◆鑑別 つき難きより斯かる奸手段を施すに至りたるものなるべくその弊を即くに他の一般食料品が多く値上げされ居るに拘らず鶏肉は現在の小賣値段百目九十錢にて廉價なるものなるが尚は是れ以上値上する事は需用者に對し氣の毒なるより百目四十錢の

◆豚肉 を少量混入して埋め合はせをなしたる旨を申述べ居れる由なり是等不正商人は此の際重處罰さるべきが尚ほ一般需用者に於ても注意すべきことなり

京龍荒しの二人組

神戸市兵庫荒町坂通生れ京城荒し前科四犯の島田元次(三十)福岡縣糸島郡加布里村生れ前科五犯山本熊太(三十)の兩名は京城南大門外の朝鮮人宿屋藏明館に泊り込み六月二十五日午前十一時頃

▽共謀し 龍山漢江通十一番地上野某方家人の不在を覗ひ熊太は表に見張りをなし元次が裏口より忍び込みて衣類十點(二百餘圓)を窃取し龍山若草町の伊藤質屋に僞名入質し彌生遊廓にて豪遊して歸りたる所を兩名共本町警察署の平林重久兩刑事に

▽逮捕され 嚴重取調べの結果兩名は共謀又は單獨にて龍山漢江通、彌生町方面にて錠前を捩ぢ切りて同樣衣類數點を窃取し尚熊太は三坂通日高某方に寄宿中土工用具數點を窃取して賣却し外二名と共に龍山彌生遊廓都樓にて五十餘圓の遊興をなして

▽不拂の 儘逃亡し其の後京城御成町陽旅館に泊り込み同家の雇人に案内させて新町遊廓某樓に登樓遊興し是れも遊興費十七圓ばかりを蹴倒して逃亡し加之に其の際同旅館の宿泊人より懷中時計一箇を行掛けの駄賃に窃取したる上宿料十一圓をも踏倒して行方を晦ましゐたる旨自白し兩人共近く送局さるゝ由

西鮮お伽旅日記(二)　涙光生

◆新幕

◇黄昏れて柳下の衙門に田舍びた町の灯の映じる頃から小止みになつた雨の、關目鬆めたる時は雨だ八時の汽車は少々遲れて、着いたの止みて居たものの相變らず、六時十分發の混合列車で新幕に向ふ、途中より乘り込んだ汽車通學の一少女、その父に向ひて曰く『お父さん、今日ねえ、京城日報のお伽噺の先生が三時からお話しがあるから六時の汽車で歸りますから…』

◇私は何故かこの少女の顔をみつめて涙ぐんだ、それは待つていて呉れる感謝と、斯うした汽車通學の不便なるを同情して〃ある、新幕に着けば甲陽館に入るべく準備されてあつた、學校組合書記の伊東氏、新小學校長が東に西に走せ廻つての御盡力は涙の出る程嬉しかつた、そのお蔭か女兒の顔も大分みゑた

◇午後五時廿分に話を終へて直に驛に向ふべき用意をしたが汽車の間に合はなかつた、仲でら思つて見たが交通斷絕で駄目であつたしかして終に今宵は此處に一泊のことゝ決めた、田舍の村に夜更けてこなれば旅の孤獨がシミ〳〵と味はれ、ポプラの下に一人たゝずみ泣かまほしきを。

天候恢復せず

頃日來の降雨は全鮮に亘れるものゝ如く其の原因は黄海道沖に部分的低氣壓現はれ漸次全鮮を侵せるものにして引續き氣壓低ければ茲二三日は尚多少の降雨あるを免れざるべし十日朝も黄海道の南方に方つて低氣壓徂徠の兆あり過日の豪雨中最も雨量多かりしは黄海道の谷山地方全羅南北平野等にして東海岸一帶は概して雨量尠かりき

通學列車を出す

客車一輛を連結

南大門驛發午後四時十分の新義州行の列車は七月一日以降廢止されて午後四時前後に北行する列車なきに至りしを以て開城水原間の各驛より京城に

◆通學 しゐたる男女學生は歸宅の列車を失ひ午後四時三十分南大門驛發の貨物列車若くば午後九時四十分發奉天行き急行に便乘する外なく又京城開城間の往復乘客も甚だ不便を感じゐたるが京城管理局にては右の

◆實情 に鑑み八日より午後四時三十分南大門驛發列車に三等客車一輛を當分の内連結する事となれり尚は該列車の開城着は七月以前の午後四時十分發に比し約一時間の遲延となる由

青木氏講演

十日午後四時より愛國婦人會京城支部に於て醫學家青木兒氏の講演ありたり

◉湖崎春枝子 前女子技藝學校長湖崎三郎氏令息妻春枝子は一兩月前より病氣中の處終に九日午前永眠し葬儀は十一日午後四時若草町西本願寺に於て執行すと

讀者文藝(一等には五十錢の賞品を呈す)

▲川柳 紳士

(一等)市内櫻井町二丁目　默樵坊

◎大臣に口實がさとく老紳士

(二等)〃一二五高須賀方

▲割引車先に乘る紳士なり　仁川　熊谷

▲三等に乘ると紳士の値が下り　京畿利川邑　福井　貞女

▲ネクタイを忘れ田紳てりかへり　清凉　寒　扇子

▲切符まで狩いが常世紳士なり　仁川　惡　仲

▲昨今滿洲及び國境方面には馬賊の跳梁が盛んになつて人心恟々たる有樣であるが▲渠等殘忍兇暴の馬賊連も水滸傳式の義を重んずる事實で頭目は官兵や民兵のために部下が殺されると必ず復讐して其の靈魂を慰め▲部下は如何なる危地に臨んでも必ず兄弟分の仇を報ずるさうだ▲日本人なども或任務を帶びて奧地へ行く時は相當の顏利に頼んで馬賊が襲撃せないやうに渡りをつけて貰ふ頭目は他の馬賊團に渡りをつけ決して危害を加へない▲滿鐵や某方面の特別任務に服する人達は必ず馬賊に渡りをつけて出發する事になつてる相な▲平壤では某鮮人の放蕩息子が妓生二人を舟に乘せ大同江で舟遊びをして居たが濁流のために舟が沈沒し男は溺死妓生は救助されたとか近所の者は前年女海へ投身した同人の父の靈魂が誘ひ込んだのだとて大評判この事(一ノ一)

商況

東京期米特電

▲立會停止

兵庫期米特電

十日前場

	一節	五節
當限	二十六圓三十四錢	六十四錢
中限	二十三圓四十九錢	八十七錢
先限	二十三圓丁度	三十一錢

大阪株式特電

	拂込額	九日後場
鐘紡	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	…
京阪電鐵	[illegible]	一九九、六〇
東洋紡績	[illegible]	…
合同紡績	[illegible]	…
鐘淵紡績	[illegible]	一四〇、七〇
同上新株	[illegible]	七七、六〇
東洋製糖	[illegible]	…
大阪商船	[illegible]	一〇七、六〇
日本郵船	[illegible]	一三三、六〇
同上新株	[illegible]	…
堂島米穀	[illegible]	一三六、五〇
東京株式	[illegible]	…
大阪株式	[illegible]	一五五、〇〇

大阪三品特電

八日後場	
七月限	三四一、一〇
八月限	三四三、〇五
九月限	三四五、〇〇
十月限	三四五、九五
十一月限	三四三、九五
十二月限	三四八、五〇
九日前場 當限	三四九、〇〇
先限	三四九、〇〇

大阪期米特電

▲立會停止

下關期米特電

九日後場

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	…	[illegible]	[illegible]

雜報

◉正米更に引締 停止中の期米解決の如何は今後正米界にも多少の影響あるべく一般注意を拂ひつゝありと雖も近來期正沒交涉の成行きに關しては相變らず地廻米は勿論れ定期の經過に付ては餘り重視せざるもの如し地場正米として見送り掛行の精米厚料買進みの外

◆思惑的に纏り口 々強硬 ◆望取かにて市況益

◆高唱へにて一二十錢の 氣配として前日來...十四圓正米強二十三圓四十五錢二十二圓九十錢唱へなるも腰強き事勢し

◉内地正米情況 内地正米時化揚句と依然元高不引合と俟つて依然出廻り捗らず るのみならず大勢に於て強硬期に等しき品カスレにある折柄産地の如きも定期界の波瀾は一層氣に止むる事なく今尚容易に下向の傾向さへ認むるを得ず

◆荷捗々しから ぬとの氣構へ ◆眼先き入

以て各米主の意響頗る強きに依り盆前に迫る當用口の如きは已むを得ず買入れ居る現情なり然れども何分意外も又意外なる高値にあるより一般豫戒の折柄期米ら阪地の如き意外なる暴落を傳へたる影響として兎角

◆勢の情況にあれば ◆必需以外は 一切見送 り居るもの如し取引として報せらるゝ處によれば一番用口への出來値は防長大排二等米三十圓六七十錢肥後米二十八圓五十錢より六十七錢處なりと

◉金市頗る閑散

不變の内地籾米市場も此一兩日來米穀高に連れ漸次引返し一歩

◉石油類持合ひ 石油類は内地市場軟弱なるも根じつゝある當地は需要閑散の處手持の關係當本者の競爭販賣等もよりして各品を通じ物價の動靜...

◆割安唱へ 裡に ◆伸び惱めり

◉支那粟不賣 粟は上物の粟入れちるも賣行きは良好ならぬといふ ◆次品は殆ど 望人なき有樣...

◆底意は依然 軟弱なり

◉豆油下落す 例年強かるべき筈の豆油も昨今海外輸出思はしからざる為め最近の産地市況は該物軟弱となりつゝ相場は一四錢方下落 せり延いて當地も數日前迄三圓五厘なりしもの一躍に二十九錢五厘に引下げたり

◉大豆は軟弱 は内地市況軟弱を傳へ移出商殆ど步取らず自然需入なきを以つて ◆附値は十四圓六 十錢見當 の安値なれば賣人側の困難にて出來するもの甚だ稀れなり

◉白米眼先高 は原料の徐々引締りを

冬織物強硬

物は東地取引開始當時より持續し遂に昨年に於ける相場に劣らざる高値を見るに至りたれば一段の高値を見るべきも計られざるに頃來先宗相場の稍や軟調となりしは或は行過ぎならんかと思惟せらるゝものゝ如し本年の相場が昨年の如く ◆一本調子 の ◆昇騰に非 ずして當業者の御らざる好觀察なれば ◆結局強硬を持 續して經過すべきとの唱へ多し

調となり妓許又之に應じて當業者の猛な頭めつゝあるも如何せん中の需要閑散時期なる上天候は連日不良なるより地方筋の注文も捗々しからず且つ市中仲間取引も依然の ◆各店殆ど無 き姿にて ◆聊に苦 しみ居れり相場は五圓見當にて時金中は相場と上海相場と不引合にあるを以て ◆荷薄と俟つて強硬

白絞油躍進

油は製造會社の高値發表を受け當市中相場は最低二十一圓より二十一圓五十錢と唱へられ ◆一躍一圓乃至一圓二三十錢方の暴騰を演 じたるも其の原因は格別之と認むべきものなく天候の不良に因り出廻り捗らざる事一の動機となり居れるが主因は新榮擁用廻り期に際し浮動的人氣作用より來れるものにして京油の下落に逆行せる邊より推ずるも ◆其根底極めて薄弱 なるものゝ如し從つて此反動の恐れなきにあらざれば當業者も此際多少警戒し居れり

明太魚下落す

近海產物の地方販賣の壹にとる需給の關係から見ても之に加ふるに前頃の前大漁と天候の不良に在りて品痛みの懸念あり依然人氣の軟化を來せしが一時四十六七圓乃至四十七八圓せしも五十圓臺と見込まれしに ◆四十三圓見 當に下れり

◉元山相場 ◆當に下 ◆漸く引合

次第に割安に陷る

げつゝあるに拘はらず久しく從來の儘に推移せるを以て深質上物の需要も原料相場との均衡上現狀を維持し難き狀勢なれば此先 ◆錢方の昂進 を免かれざるべし ◆二三十

◉小豆は品薄 小豆は在荷薄き事とて家の需要に追はれ ◆河上物極上 二十圓 に出來しも ◆二十圓 前後の唱へなりと

◉綠豆と白胡麻 は何れも上物手薄にて漸く需要の出來し ◆大豆粕反撥 ...

◉大豆粕反撥 粕は地方に於ける秋作後天候不順にして需用の鏡に...

◉肥料糠手堅し 糠は現在品殆ど内地移出口の要求物なれば既規定入に對する ...

◉若布作柄良好 若布産若布は各地共作柄良好にて出廻りも多 く海産物中 ◆獨り割安 かなる...

各地商況

◉鎭南浦八月の米況 ...

遲延者に追證納入

八月一日當中停止し八日期中申込の取引限日の取りしか一部仲買人より支那米... ◆遲延 ◆遂に總解合 ...

◆協定 ◆解合値段 ◆議中

市場雜觀

◆選擧の結果 ◆改め解合委員 ◆買人より異議を唱 へた ◆一部仲 ◆爲め中止 ◆三先限不穩

全仲買店

仁川米豆取引所仲買人　電話長一五九番　振替口座京城七二〇番

ナ仲買店

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長九〇五番　四四八三番

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話一二三、三一四番　振替口座京城七〇二番

仁川米豆取引所停止當日の値段

	寄付	止め	高値	安値
當限	二十一圓九十五錢	二十一圓九十五錢	二十一圓九十五錢	二十一圓四十錢
先限	二十一圓五十錢	[illegible]	[illegible]	[illegible]

食料品卸相場

品名	單位	價格
鰹節(カツヲ)	四打入	[illegible]
同(鰹)	同	[illegible]
同イワシ	同	[illegible]
同カニ	同	[illegible]
同福神漬	同	[illegible]
同奈良漬	同	[illegible]
同味噌	同	[illegible]
同タケノコ	同	[illegible]
シイタケ	一貫	[illegible]
素麺	十貫	[illegible]
寒天	千本	[illegible]
砂糖	十貫	[illegible]
絲	同	[illegible]
片栗粉	同	[illegible]
花節	十二貫	[illegible]
本節	十貫	[illegible]
鰹節	同	[illegible]
ちりめん	同	[illegible]
鹽鯛	同	[illegible]
三矢サイダー	四打	[illegible]
赤玉ポートワイン	同	[illegible]
森永ミルク	同	[illegible]
麥酒	同	[illegible]
根印醤油	同	[illegible]
正宗	同	[illegible]
ソース	六打	[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人
金高田仲買店
總株金壹百萬圓
全額拂込
●御委託金に對する利子は不要
●御依託品は御相談に應ず
仁川海岸町三丁目
電話長一二九
振替三八二
電信略符タツ

仁川正米

▲正米は内地各市場定期の大暴落を報じ仁川は休會中にて氣配も依然混沌狀態にて見送り居れり ▲粟の入荷なし

南大門廻穀

當日 玄米三二瓩 安東小豆三二瓩 ...

生魚市場

京城日の丸市場 水害の爲め各線不通の箇所あり爲めに本日の着荷は仁川物のみにて需要旺盛なるも入荷少なく相場は...

仁川期米

▲十日前場休會 ▲今前場も休會 別項の如く 總解談進行中 に付休會 ▲引續き休會 ▲兵庫入電は今前場一節當限二十六圓三十四錢中二十三圓四十九錢先二十三圓丁度五節當二十六圓六十四錢中二十三圓八十七錢先二十三圓三十一錢

▲總觸合談起る

▲順次落に就き ▲定期取引所が...

▲天候前日來の降雨も午後に至り恢復し晴天となり ... ◆後場は東京立會 ◆後場は東京兵 ◆庫共休會

白米小賣値

一等白米	二十八錢五厘
二等白米	二十八錢

白米標準値

二十七圓六十錢

[illegible]上陸した二名の[illegible]朝鮮婦人である、同じ船から上陸が一昨年の春、雲影女は[illegible]美人あり其一名は何故か兩眼を泪したる小意氣な紳士が善く此二一望に眺めうるポプラの風も爽か[illegible]らしながら下關待合にて休憩 名の旅行用件を承知して居た、米な海濱の高地に建てる赤煉瓦の尖を覆ふて來た、時も時數日前の事はもつこもつこ苦しい思ひがある[illegible]

[illegible]女の神經は是から穩かでなくなつた、不安の念は小さい鮮女の胸から[illegible]らぬこゝにはなつた、然し一方に[illegible]防するに眠るさせてこそ[illegible]

須らく冷靜なれ
＝西伯利義勇兵の募集に就て

西伯利亞義勇兵募集と稱し素性明かならざる數名の男過日來滿鐵沿線各地及び大連方面に出沒し質朴なる在鄕軍人及び青年子弟を甘言を以て誘惑し既に大連のみにても七十餘名の邦人を募集して出發せしめたるが聞く處に由ればこの義勇兵募集委員は元陸軍中佐と自稱し某ホテルに投宿し豪勢三昧に暮しゐたるが其の言ふ所に由れば下士以上にして年齡四十歲迄の者を主として募集し月給金百五十圓より二百圓迄を給與し被服食費一切義勇司令部に於て軍費より支出すべく上等兵以下、卒は月給六十圓乃至七十五圓を給與し凡て軍隊內に生活せしむべく將校は其の官等級及び兵科に由りて給與を異にする詳細なる內規ありとの事なり猶同義勇軍の目的を達成したる曉には月給十二箇月分及び旅費其他の支給を爲すべく萬一目的成立せず西伯利亞に於て解散する場合には募集地迄の旅費を支給するとの事である此の

雲を摑む如き甘言

に迷はされる應募者も多少は有模樣にて滿鐵下級社員又は巡査等の間にも應募者あり既に先發隊として出發したとの事にて滿鐵にては各課及び沿線各驛長に宛て萬一從業者中此種の甘言に誘惑せられ志願者を出すが如き場合は本人の一身を誤る事なき樣懇々說諭を加へ應募を思ひ止まるやう取計ふべき旨の內訓を發したりとの事なり之れに就き最近西伯利亞より歸來せる某氏の談に由れば目下北滿の狀況は我が日本人の等閑視する事を許さざる事情ありされども我日本人が義勇兵を募集して北滿の野に跳梁するが如きは

大なる不心得と

謂ふべきなり今や北滿洲の狀況に就きては英米共に多大の注意を拂ひ居れり此の際我日本の在鄕軍人を以て組織する私兵を北滿の野に迷り秩序なく節制なく放肆なる行動を執るに至らしめば其の結果の如何なるものなるかは詳說するを須ひざる處なり若し哈爾賓、齊齊哈爾其他主要なる北滿の都市にて我居留民自衞の爲兵備を必要とせば

居留民先づ自ら

衞り猶力足らざる時は國家の保護を乞ふべきなり何んぞ浮浪の徒を嘯集して居留地を衞るの必要あるべき要するに彼等は彼等の爲めの義勇兵にして其の裏面の如何なるものなるかは明かなり之の明かなる事實に迷ひ義勇兵として應募し萬一約束の給與を受くるを得ずとするも應募者は

誰に愬へて契約

を履行せしむべきか實に雲を摑むよりも猶當事なき話ならずや北滿洲方面に於て各階級の邦人の力を待つ事頗る多し而して此の際邦人の北方發展は吾々の双手を擧げて賛成する處なれども夫には相當の

準備と覺悟とを

要し妄動躁狂は此の際嚴禁せざるべからず彼の募兵の如き其の目的の那邊に在るや殆ど解する事難し各種の鬪爭團體が續起續倒するは亂國の狀態なり之等の一探擾亂の徒と共に

狂奔し若しくは

甘言を以て他を誘ひ一身を誤らしむるが如き舉動は言語道斷と謂ふべく況んや帝國在鄕軍人を誘ふに於てをや此の種の問題に關しては各人冷靜なる判斷を爲すべきなりと（大連）

戰塵

戰爭と祝賀

グロデコウオよりの情報に依るにガルイムコフ軍は更にリボウチエフ（過激派のクラスナヤと改名したる處）に進み住民の歡喜に迎へられ市街に入り、ダウリースキー哥薩克二個中隊と合しホルワット將軍はカルイムコフ隊長に宛てニコリスクを攻略するに必要なる總ての手段を講ぜよとの訓令を發したるがカルイムコフ軍隊はまた戰勝に對する多くの祝賀を受けたりと（哈爾賓）

チエック軍勝つ

チタよりの情報によるにチエックスラブ軍は過激派軍をカルイムスカヤの後方より國境に追詰めハバロフスクに至る沿線より擊退し千五百名を俘虜としたるが右の內八百名は墺國人俘虜なりと（哈爾賓）

ポプラの別名
ポプラを圖案的に仕立る法

◇ポプラは其伸びるが儘の自然に放置してゐないで、十分に手を入れると中々圖案的な輕快な樹形の並木──行道樹が出來る。地上二間までの枝は凝り拂ひ、枝高を三間位に制限して、即ち地上三間以上に一間の叢生枝をつくる、するとポプラに持ち前の萌芽性を十分に發揮して密枝を出だす、その枝には又澤山の葉が生ねる。その葉ごと枝を刈込んで形よく眞圓るい球狀をこしらへる。丁度二間の幹のさきに一間直徑の葉の毬をつくるやうにする。これを市街の行道又は公園の武境界樹などに用ひると形も整つて極めて面白い。

◇ポプラは生長が莫迦に好い。一年に六尺も七尺ものびる。枝も張る葉も迅速に繁茂する樹だから、手ッ取り早く行道樹をこしらへるには一番宜しい。そして西洋館の建物などに中々ハイカラに調和する。

◇ポプラと普通呼んでゐるのは、ヤマナラシのことであるが之れには色々の別名がある。風が吹くと葉音が高いといふので又は山鳴らし、又は山風、風が吹くとふらふら左右に搖れ動くのでツラフリといふ。同じ意味で嫁振りともいふさうな。風にそよぐ音が雨でも降つてる樣なのでアメフリともいふホトケギ、イヤナギ、イヌギリなどの方言もあるといふ。

鬱陵島
（下） 鈴木慶北道長官談
◆島民の多數は避難者◆

鬱陵島の產業として漁業に亞ぐは全島約千石を產出すれども地形の關係上桑樹栽培を獎勵するは困難なるべく思惟さるゝも尙大に研究の必要あり、最後に敎育の點に至つては最も頭腦を苦しむる所なり、同島の敎育機關としては現在道洞、南陽、臺霞の三箇所に內地人小學校其他道洞には普通學校の設けあるも何分同島は全島殆んど漁民のみなれば各所に點々居住し前記小學校の如きも殆んど在て無きが如き狀態にて各校とも孰れも十名內外の生徒を收容して敎育しつゝあるに過ぎざる現狀なるが何分前述の如く崎嶇羊腸たる險路を而も數里日々通學する事は到底不可能に屬す現に予の今回の行に於ても周圍凡そ十里の全島を是非共一週せむと企てたるが前述の如き險道なればと土地の有志の斡旋にて漸く一挺の山駕籠を準備し貰ひ僅々十里の道路を三日を費して一週したるが何しろ二人以上肩行出來ず險路を六人掛りにて綱引後押しにて出掛けたるが時としては殆んど仰臥する程となり又或所に依りては徒步せざれば通行し難き箇所もありて往年箱根の險道を山駕籠にて通行したる經驗ある予も實に驚然たらざるを得ざりし程なりしが左りとて敎育の普及を計らむとするには是非共通行に支障なき程度の道路を新設するの要あれば之の點に就ても考慮を廻らす考へなり、終りに臨みて同島居住の內鮮人間の交に付一言せん、元來在島鮮人の大部分は舊韓國政府時代に於ける苛斂誅求に耐へざるか或は又是徒猛獸の襲來等の爲め孰れも避難的に移住したる者なれば朝鮮固有の氣質は殆んど之無きのみならず移住せし年代の如きも極めて最近に屬し凡そ三十年前より移住を始めたるもの、如くにて內地人と殆んど大差なき等の關係上頗る圓滿なる友交にて其間一點意思の疏通を缺ぐを見ざるは寔に悅しき事といふべし（大邱）

勞兵會長の拐帶

武市來電ブラゴエチエンスク勞兵會長ムーヒン及び副會長シユーッキンはチエック軍の進擊を恐れ過激派の勢力日々衰微に傾くを見て多額の現金を拐帶してブラゴエチエンスクを逃亡せり（哈爾賓）

牛の値打が
◆段々知れ渡るにつれ◆
牛を滅多に殺さないので牛が一體に大きくなつた 喜ぶべき現象

近時牛商人は各地を旅行して著るしく衆人の目を曳くのは犢牛の增加したことと牛の肥大したことである由來朝鮮人は牛に依つて農業を營み物資を運搬して居るもの、左程有難いものとも思はず殺らが牛皮の値段でも騰貴すれば遠慮なく屠牛場へと廻して罪もないのに逹者な牛の死刑を執行してゐたが昨年來當局に於て牛の保護と云ふことに就て極力獎勵を加へたのと一面諸物價の暴騰に連れ牛價は著るしく奔騰した、尙ほ穀價の騰貴は農家の經濟を潤澤ならしめた結果牛を手放すものが尠い、要するに牛の保護觀念が漸く彼等農民に徹底したのである、換言すれば牛の眞價が表れて來たのである、それが爲め農家に於ても牛に對する待遇を一變して大に優遇をすることゝなつた、又本年は氣候關係の順調であつた結果草の生ひ方が極めて良好で牛の糧食は實に豐富である夫等の點よりして一般を通じて著るしく肥大になり且つ頭數の增加に伴なうて益々犢牛も殖ゆる樣になつて來たので畜產獎勵上喜ばしい現象と謂ふべきであると（平壤）

江華島便
江華島にて 歐文生

一時打續きたる旱魃に氣遣ひたる農家は近頃の雨を得て嬉々として忙はしく挿秧を始め高燥地とも全部の植付を了へたり予は七日南山の頂上に登り四方眺望を恣にしつゝ坐ろに本島の由來を想起し我後堀河天皇の御宇高麗朝の高宗蒙古の襲來を避けて一時松都より遷都し今の江華の名を稱へたることより明治八年の砲擊事件當韓國軍隊解散時に於ける叛徒等を偲びて無限の感に打たる、顧みれば明治八年八月我軍艦雲揚號は朝鮮沿海測量中薪水缺乏の爲め江華灣に投錨せしに永宗島（江華島を南に距る小島）の砲臺より俄に砲擊をなしたるを以て艦長井上良馨直ちに之れに應戰進んで永宗城を陷落せり此に於て我政府は參議黑田淸隆を特命全權辨理大使に元老院議官井上馨を同副使に任じ本島に來り朝鮮政府の全權大臣申櫶、尹滋承と會合して談判の結果茲に始めて修交條約十二箇條を締結せり而して韓廷よりは修信使禮曹參議金綺秀を日本に派遣し永宗島事件を謝し翌九月我が外務大臣花房義質公使として京城に駐剳するに至れり其後壬午の亂、甲申の亂、乙未の變、丁未の政變等を經て明治四十年七月末日韓國軍隊の解散を見各地鎭衞隊に叛亂起り江華島も鎭衞派遣隊にありし兵士は自强會員の煽動に乘りて同年八月九日叛亂し暴民と聯合し其數五百餘名先づ我巡査駐在所を襲ひ山內巡査を慘殺し次いで郡衙に迫り親日派の郡守鄭景洙も亦その毒手に殪れたり是に於て水原鎭衞分隊管內解散指揮官小倉大尉は步兵二個小隊を率ゐ翌十日仁川を發し泥踏之が討伐に來り刀串附近より上陸せんとするや韓兵は岸上の高地に據りて邀擊し頑强なる抵抗をなせし爲め我兵頗る不利の地位に立ちしも勇敢に奮戰して上陸を强行し直ちに之を擊破して其陣地を占領したり此の戰鬪に於て軍曹矢野喫一以下卒十五名戰死し一等卒古賀伊平次以下十五名の負傷者を出せりかくして小倉隊は其夜上陸地に夜營を爲し翌十一日朝敵の本營に迫り江華府東門に據れる叛兵を擊退して江華府を占領し米國敎會堂其他に據れる殘兵の掃蕩に從事せり此の日赤司少佐の率ゆる混成一部隊も亦來援したれば全島復歸擾なく赤司隊は十五日一個中隊を殘留警戒に任ぜしめ仁川に凱旋したり爾來明治四十三年八月併合の盛儀成り數星霜を經て本島民も漸次政の德澤に浴し工業に各自業を勵み居れるは喜ぶべき事といふべし

漢江觀火大會延期
降雨と出水のため延期 來る廿日（土曜日）擧行

大連に新設の火災保險會社
大株主は滿鐵

大連埠頭に於ける火災は其後警戒の嚴重なると火災保險解除等の結果終熄せるもの、如く一時甚大なる危險を感じて契約解除を行ひたる明治火災外十四火災保險會社は多少保險料の率を引揚げ再契約をなさんとする意向あるもの、如くなれども一時契約解除に由り頗る困難に遭遇せる大連埠頭倉庫出荷及び有力貨主家は保險會社の態度に慊らざるものありと此の際滿鐵會社を大株主として新に大連に火災保險株式會社を設立すべしとの議起り既に具體的の案成りたるを以て其の資本金を六百萬圓とするか一千萬圓とするかに付きては一つに滿鐵の意見に由りて決定すべく過日相生由太郎氏は此の件に付き滿鐵重役と打合せを爲したるが創立に關する詳細なる條項は滿鐵の持株其他決定次第近く發表せらるべし（大連）

◎判檢事會議 公州地方法院に於て八日より三日間管內判檢事會議を開く由因みに大田支廳當檢事羽生判事は同會議列席の爲め七日午前出發公州へ出張せり（大田）

湖南線收益

大正六年度下半期即ち昨年十月より本年三月に至る六月間の湖南線運輸收入に付大田運輸課出張所の調查する處を見るに客車收入六十四萬三百九十一圓にして前年度同期に比し十九萬四圓を增加し貨車收入六十七萬五千五百六十七圓にして前年度同期に比し二十六萬四千九百六十五圓を增加し合計百四十五萬四千九百六十九圓を增加せり收入の順序は群山、木浦、裡里、江景、井邑、論山、金堤、泰仁、長城、榮山浦、大田、羅州、鶴橋、黃登、鷲梁等の順序なりと（大田）

平壤の金融界

客月中に於る平壤附近農家經濟を見るに前月に於て穀物相場奔騰に因る鮮人側の思惑買ひ行はれたるに反し仕入資金、工事資金等の需要によりて小緊なりし金融も六月に入りては穀類の取引頓に鈍狀を呈したると綿絲布の引續不味軟弱なると農繁期に際會したることにより此等方面に對する資金の需要を減少して農家の金融は緩漫裡に越月せり[illegible]大豆の取引抄なしから綿絲布の變動により一般に手控への姿にて商況不振なり

西鮮共進會

九日午後一時より平壤商業會議所に於て共進會期成會第一回調查委員會を開催し大邱に於て今秋開催すべき第二回慶北共進會の內容調查を本委員會より平壤商業會議所に依賴する件及び共進會經費の額並に收入豫定の規模計畫の大要其他開催時期等に關して討議せり（平壤）

◎災後の機關車事務室 過般火災に罹り燒失したる大田機關車事務室は今般當山より舊家屋を解き崩し來り改築する事となり八月中には全部落成する豫定にして夫れ迄は客車內に於て事務を執りつゝあり（大田）

◎大阪高商視察團 大阪高等商業學校生二十八名は河本教諭に引率され滿鮮視察の途次來る十七日頃平壤を視察すべく平壤商業會議所に通知ありたり（平壤）

◎基金中へ寄附 成歡牧場員野元助八氏は今回亡息の香典を節約し成歡公立尋常高等小學校基本財產の中へ金十五圓寄附したり（成歡）

◎大田署と警務部 大田警察署次席欠員の處今般平壤警務部巡査部長より警部に昇進せし高崎助一氏其後任として着任せり

不孝息子の水死奇緣
變死した因果譚
亡父の投身した一週忌に

近頃京城を初め平壤府にて鮮人の若き資產家の倅抔の妓生を伴れて豪遊することが一種の流行となれる傾向あり爰に平壤府城內里海產物問屋亡方延至長男方昌基（二三）といふは亡父が昨年商業上の失敗より身代の左前となりしを苦に病み關釜聯絡船より投身して自殺したる後は父の居らざるを好い事にして放埒三昧に日を送り去る七日午後四時頃平壤名物の妓生李桃花（二一）李翠紅（一六）を伴ひ大同江に舟遊びと洒落込み自ら艪を漕ぎ船中にて三人水入らずに目的地に停船し歡樂に耽りたる末午後六時頃歸途に就かんと浚羅島の一角に差掛るや急流の爲め舟は進退の自由を失はんとするより方昌基は必死となりて櫓を操りつゝ江岸に漕ぎ寄せんとせる一刹那櫓は力の入りし爲めか半ばより折斷されアツやこ言ふ間もなく方昌基は真逆樣に水中に落込み桃花、翠紅の兩妓も既に危かりしも漸く船側に取すがり一命を拾ひしが巨漢の方昌基は無態にも其儘姿を水中に沒し行方不明となりたれば兩妓は大聲にて救ひを求め助け船の御蔭で漸く上陸し早速此旨同家に急報せしより大騷ぎとなり平壤署に屆出づると共に一面懸賞金を以て二十餘人の搜索船を出し下流一帶を搜査せしも八日まで尙ほ死體判明せず引續き大搜查を行ひ居れり茲に不思議の緣といふは同人の父方延至が投身して果てし恰度去年の七月七日にて昌基の水死は一週忌の命日に當れりといふ（平壤）

◎東萊の碁會 去る七日の日曜を利用して釜山碁友會第一回碁會を東萊溫泉蓬萊館で催した參會者は野手稅關長、大谷監視課長、石本朝鮮新聞、本川朝鮮時報と吾輩──午後一時から始めたが吾ひも揃つたザル碁の連中『まるで石を積むばかり、賽の河原の樣』だとは口の惡るい女中の評……本川時報子の碁が猛烈だと云ふので此の日猛士の稱號を賜はつた房宗通運と寺澤ホテルの碁は大人しい事一通りでない恰度少女の囁きの樣だと誰れやらが評した、悲客は懸命で爭つてゐる、京城の本社から來た石田スケッチ氏が一人への顏をスケッチしたから御陪覽に供すると云ふので諸先生はそれからそれへと廻はされたが本川君の[illegible]

三菱の社宅を襲ひたる賊捕はる

七月七日午前八時頃兼二浦警察官駐在所の大川、安の二刑事が東本願寺附近を通行中折柄通り掛りたる一鮮人の擧動不審なるより取調べたるに數月前より三菱製鐵所の社宅を片ツ端から荒し廻り現金貴金屬等手當り次第に竊取せし竊盜前科數犯の安公七（二七）と稱する曲者なること判明し目下取調中（兼二浦）

滿洲の野球戰
四平街と公主嶺との試合

公主嶺野球團は試合の爲め七日四平街に來り四平街側選手と小學校運動場に降雨を侵し泥濘の中に決戰を試みしも遂に降雨と泥濘のため試合不能となり打球を試ること遂に四平街十對公主嶺九にて四平街側の勝利に歸せり終つて講堂に於て杯は擧げ晩餐を喫し萬歲裡に公主嶺側の選手は引揚げたり（四平街）

◎湖南吟社 大田湖南吟社[illegible]例會を[illegible]に於て去六日午後八時より開き[illegible]子、冷し爪、[illegible]の三題を互選し十二時過散會せり次回の兼題は[illegible]十五日〆切にして投吟所は大田春日町[illegible]方なり（大田）

白山黑水

天勝や吉植代議士を迎めた例の中年女子過日來大連ヤマトホテルに投宿し相變らず烟草を吐いて居る▲女といふ奴は金持の後押しでも有ると馬鹿に氣焰を揚げる者である▲その代りに此の金持に秋風でも起されると天上界から地獄の底だ▲茲に於て自己の暗闇の恥を白晝に曝つてゝも飯を喰べなければならぬ▲何んかと云つても女は矢つ張り弱い者だ、弱い者だけに怖ろしい▲女が金と力のある色男を見付け出す迄世話をしてやるなら兎に角そうでも無いと又『老虎灘の一夜』てな事で雜誌にでも披露されはせぬかといらぬ心配をして居る向きもある▲聞く處に由ると女子は大連でカフエーを始めようとんで奔走して居るそうだ五色の酒も今頃は古ッ臭い（大連）

各地の金融
◆公州（殖銀支店調）

忠南公州の殖銀農銀支店に於ける前半期營業成績は非常の好況を呈し前年同期に比し貸出額は約倍額に達し其他の取扱高は總て五六割の增加を見るに至れり而して利益も亦た非常の多額に上れりと而して斯く資金の需要を喚起するに至りし主なる原因を聞くに（一）穀類地價の騰貴（二）窮蠶地干潟地の開墾堤防の修築及び田を畓に改修する等凡て耕地の價値を昂むるに至るべき施設をなすもの、增加したること（三）其他當局の指導獎勵により植林、苗圃、養蠶等の事業本年に入りて寔に勃興したること而して農家の爲めに資金の供給上一層の利便を圖りたる結果斯く貸出の激增を來したる次第なりと云ふ貸出預金等左の如し

	本年六月末	前年同期
貸金	三五二、三二〇	二二一、四四〇
預金	三九、七七六	一九七、二三〇
出納	六、二四〇、五四〇	四、五六六、〇三〇

原料貸與 職業 代理店募集 東洋物產合資會社
前途有望なるパナマ帽子及ゴム職業年中無休自宅就職製品引受工賃現金熟練料一圓五拾錢迄確實案內書御一報次第呈す 大阪本町信濃橋東詰振替大阪一〇七〇六

肥料 過燐酸、硫酸アンモニヤ、智利硝石、鰯メ粕、油粕、大豆粕
稻作配合肥料、煙草用、果樹用、苗圃用其他各種取扱
近來より安價販賣の目的を以て左記各驛に配置致し居候御注文の際は取扱の迅速と安價とを以て御用命に應じ申候
販賣特色 配置驛・京城・釜山・裡里・水原・鳥致院・平壤

秋耕種子 大根 蕪 各地產種
京城南大門通四丁目電話一八五〇番 大阪產業株式會社 京城肥料部
振替は[illegible]

資本金壹百萬圓 京城 株式會社 漢湖農工銀行
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候 支配人 遠山熙
支店所在地 開城、春川、大田、江景、公州、淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

各種鑛物分析依賴に應ず 金銀精製 新發見鑛區買入
京城旭町一丁目七 中村分析所 電話壹二一七番

安住かとりと線香 登錄商標 猪印
信用生產額共ニ第一 代表的最優品
安住香の効力は所謂藥の能書を超越す
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す 大阪北區富田町 安住大藥房

蠅退治（ST式固形石油乳劑）
ハイのウジとタマゴを殺し根を絶つて葉を枯らす根本的蠅の驅除劑
壹打 定價二拾八錢 郵稅四錢
總發賣元 熊平支店 電話長六二四番 振替京城二二一五番
大販賣元 京城日報代理部 電話本局三十八番 振替京城三〇〇番

魚釣具及投網 卸小賣 吉備商會 京城永樂町二丁目 電話三四番 振替京城四三二八番
鳥捕用カスミ網各種あり御申越次第定價表進呈

父吉儀病氣ノ處養生不相叶去七日鄕里愛媛縣宇摩郡二名村に於て死去致候間此段辱知諸君に謹告仕候
追て葬儀は鄕里に於て相營み可申候
大正七年七月八日
男 川上常郎
友人總代 宇佐美勝夫 三島太郞 子爵 松平直平

新案特許 書寢蚊帳
小人使用ノ圖 大人使用ノ圖
第一 小人には母衣蚊帳以上に重寶なり
第二 大人には中判蚊帳となり讀書用寢臺用に便利なり
第三 折り疊み自由にして至極便利なり
第四 枠には水鉛鍍金装飾あり
第五 價格低廉にして進物に好適品なり
家庭用 甲 二圓 乙 一圓五十錢 旅行用 五圓 二圓八十錢 小包郵便料四十錢
東京日本橋角 近江屋 西川商店 振替東京四四九九番

流行 行燈袴 特價金拾圓也
純毛にして新流行縞物四種 世間ありふれたる內地製品にあらず
英國製にして「シワノヨラヌ」非常の好評殘部僅少と相成候間至急御注文願上候
京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話長六〇〇〇番 振替京城三〇〇番

商業登記公告
株式會社[illegible]ハ大正七年五月[illegible]各株ニ付七圓五十錢ノ拂込ヲ爲シタルニ付拂込金額ヲ金[illegible]ト變更ス
右大正七年七月九日登記 京城地方法院 水原支廳

塚原卜傳 第百三十二席

悟道軒圓玉口演

北條の家來石塚十左衛門と柏木一角とが何か相談したことは固より知らぬ熊吉、其夜は非番でございますから城中を出て城下の伊佐々村に鎮座する櫻川八幡宮へ參詣いたしまして武運長久並びに主人小太郎仇討本懐を無事に遂げるやうにと祈願を籠め、社内を出て立戻つて來る、途中を流れて居る伊佐々川といふ川、一名を櫻川ともいふ常陸國で名所の一つになつて居る所でございますが其櫻川の橋を渡らんとすると後ろから○『オーイオーイ』と呼ぶ者がある、熊吉何者なるかと振返つて見ると月の光りに輝ゆる黒覆面の武士、長やかなる大小を落し差しにして居る、立止つて居る熊吉の傍らへ追付いて○『四郎兵衛少し待て』と聲を懸けた、熊吉突立つたまゝ 熊『呼止められるは何か用事があつての事か、して御身は何れの何といはるゝ御人か ○『外の者でもない、拙者だ』と覆面を片手で取つて初めて顔を出したのを見ると外ならぬ柏木一角でありますから四郎兵衛 熊『イヤ誰方かと思つたら柏木様でございましたか、存ぜぬ事とて失禮を…… 一『イヤ實は四郎兵衛少し御身に尋ねたい事があつて城内では少し話が出來ぬから其方が外出するのを知つて態々之れまで追駈けて參つたのだ 熊『左様でございますか、それはそれは御苦勞さまな事で、シテ其お話と仰しやるは…… 一『四郎兵衛其方に話しといふのは餘の事でもない、其方の素性を改めて一通り聞きたいものだ 熊『柏木様も御冗戯を仰しやる、何も私の素性などをお聞きにならずとも皆様皆前御存じの通り國は伊豆の生れで田舎廻りの相撲取り、力が落ちて據ろなく小間物の商賣をして、歩行いて、御當地へ來て大納屋の世話で城内御出入、筑波の狩猟から士分お取立、何度申上げても同じ事ぢやアございませんか 一『イヤ其の外に素性がありう、其方が隠すなれば拙者が言つて聞かせるが其方は塚原小太郎といふ者を助けんとして小田原の城中へ忍び入り、石牢を打破つた事があらう、固は塚原の家來で何の何某といはれた者に相違ないサア眞直ぐに申せ 熊『飛んでもない事で塚原なんといふ人は一向存じませんし、小田原の石牢なぞは見た事もございません 一『エヽ四の五のと言抜けても此一角が明白なる證據を握つて居るぞ、サア之れを見ろ』と懷中から取出したのは一封の書面、熊吉の鼻の先きへ突出したのを、ヒヨイと見ると落いた、自分が筆を執つて笹輪へ送つた書面、城下の飛脚屋長兵衛といふ飛脚屋へ頼んでモウ笹輪へ届いた時分と思つて居た其書、何うして一角の手に入つたか南無三失策つたと氣がつく熊吉大に驚いて思はず一足退がつて一刀の柄へ手を懸けた、一角大眼を見開いてハッタと白睨み 一『己獅子身中の蟲、斯る證據のある上は少しも遁す事ならぬ、此處に於て一角が刄の錆となし呉れる、覺悟に及べ』と一刀の柄へ手を懸けギラリと引拔いた 熊『モウ之まで 如何にも俺は塚原の家來、秋山伴作が弟熊吉、小間物渡世と姿を易へて城中へ入り込んだのも國より彈正の隙を窺ひ、主人勝義に仇討をさせんため、書いて送つたからは百の言譯も無益の事、サア此上は貴様を殺し此場を立退き少しも早く小太郎殿へ告げねばならぬ、仇の片割れ覺悟をしろ』と一刀拔いて切つて掛る 一『小癪な奴』と一角が一刀振上げ只一打と切下すをガッキと受け止め一上一下上段下段と五六合切結んだが、何をいふにも一角は彈正の家臣の中で屈指の技倆、熊吉は我流の劍術ゆゑ次第々々に切立てられて來た。

◉慶州にて

佛國寺と石窟庵　佐々木生

◇石窟庵の上府大きな自然石に『不二法門』と刻まれてある見るからに千年の昔を偲ばれて幽かしく恍々しい

◇正面に向へば石窟庵の前面は凡て修繕されてある是れは大正二年度から同四年八月に亘りて總督府が國費を投じて頽廢の極に達した石窟庵を重修したので入口の右壁に之の重修記も刻まれてある、この重修の仕方に就いては腑に落ちぬ點もあるが閑話休題として石窟に入ればさすがに新羅全盛時代の文化、藝術の一斑を窺はしむるもので確かに嘆賞に價する

◇その構造はといふに平面は圓形であつて天井は穹窿狀で花崗石で築造されてある、築造の時代は新羅景徳王の時代だといふことである、先づ中央蓮臺の座像は石造釋迦如來で高さが一丈一尺、臺座が五尺である其彫刻の美事なるは新羅彫刻中第一位のものと云はれ大智圓滿なる佛相を具備して居る、そして何となく柔和な懷しい眼ち手足の太さや乳部のふつくりと肥滿して居るところは一方から云へば肉體美を發揮して居るが而も崇高自つから頭を下げしめる、然しこうしたものが肝心の眉間の相好を拔き取られてあるのは遺憾千萬である

◇周圍の石壁は文珠、普賢、觀音、聖十一面觀音菩薩、大弟子の半肉彫像で各々夫の獨特の變化を現はし就中觀世音菩薩の如き實に嘆賞の外はない、また入口には八金剛、仁王、四天王と同じ彫像であるが仁王の外は少しく内部の彫像に比して見劣りする樣に感じた、しかし此石窟庵は新羅全盛時代の文化と藝術の一斑を窺はるゝものなる事を繰り返し說く

牛乳 御用 朝鮮病院テル 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

七月十二日 九星

舊六月五日 庚申 本命七赤西 暗劍西 佛滅

▲七赤 [illegible] ▲八白 大願の日轉居開業入學名弘金件求職婚姻山獵皆吉 ▲九紫 [illegible] ▲一白 祝福の日轉居入學金件求職出旅建前縁組皆吉 ▲二黒 [illegible] ▲三碧 氣に入らぬ事多き日新事手紙着事は吉女子は心を突にもたるべし ▲四緑 平運の日午前[illegible]午後は吉 ▲五黄 愉快の日轉居旅行入門名弘求職[illegible]婚姻普請吉 ▲六白 [illegible]

演藝案内

黄金館 電話二二六七 二三六六 天然色活動寫眞會社京城茶山一手代理店 ○七月五日より新築二週年紀念特別興行 ▲新劇『火玉長吉』 ▲米國パテー社作 第十三篇四十六巻十一週間連續 ▲活劇『百萬弗の秘密』第二篇 [illegible]

有樂館 米國ユニヴァサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(階上)五五七 ◎諷刺喜劇『自動車成金』全五巻 アーノルド、ベヤード君大奮鬪 [illegible]

お待兼ねの！ 京阪 落語 語樂會 今回更に若手數名加へ[illegible] 入場料特に從前通り 愈々今晩より 浪花館

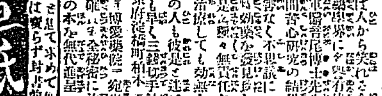
大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 當る七月五日より名譽特別大興行 ○實寫 ○喜劇 ○尾上松之助一派出演 ◎舊劇『太閤榮華物語』全四巻 ◎新劇『ダイヤの一』 [illegible]

米國ナショナルドラマ會社 世界最大戰爭劇『國難』 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 當る七月十一日より開演 京阪落語語樂會一行 [illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇番 現代自然の新喜劇 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番 新派さゝ浪會一行 [illegible]

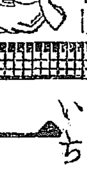


あせも ソバカス ほくろ いれずみ [illegible] 東京府下[illegible]

婦春草紙 [illegible] 東京芝三光町 秋春庵

芳香ひぜん水 大阪市西區新町通三丁目 本舗 田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二八八番

お化粧問答



問 [illegible] クラブ固煉白粉は[illegible] クラブ化粧水で[illegible] クラブ美身クリームは冬はアレ止め、夏は日焼け止めとして世の喝采を博して居ります。

男のひみつ病 最高名譽大金牌 専賣特許 手輕に治す東京大阪 [illegible] 無代進呈 [illegible]

輸入創始明治四十四年 オキシパサー 本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱導に係る[illegible] 定價金九拾九圓 京城本町二丁目七十一 特約店 酒本高明商店

電鈴と乾電池 京城朝鮮銀行前 ヒオキ商會

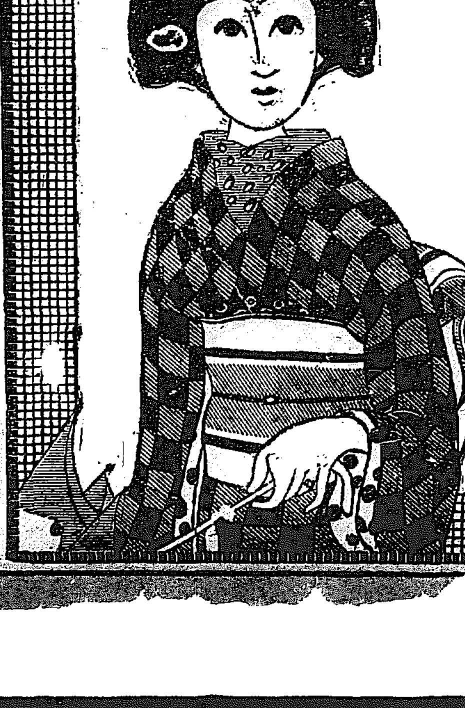
一番よくきく マラリア特効丸 龍山林藥房製劑の [illegible] 本舗 京城本町二丁目 林藥房 代理店 [illegible]

いろは金言カード

ほ 朋友なき人は半身の人なり（英國俚諺）
へ 勉強は成功の材料なり（ドンキゾーテ）

パイン萬年筆 商品を吹聽するにこの邊まで誇張を要するかパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆として備ふべき一切の効能と特徴とを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし 萬年筆使用の快味を知らむとせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし 發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

一番よくきく 日ヤケ止は クラブ洗粉の 本店謹製 クラブ美身クリーム



此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも 皇后宮職御用品 たるの光榮を辱うしつゝあり。

汽車 京釜線（南行） 同（北行） 京義線（南行） 同（北行） 京仁線（仁川行） 同（南行） 京元線（北行） 同（南行） [illegible]

京城日報

本紙定價 一部參錢 一ヶ月七拾五錢 …
廣告料金 …
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 … 振替貯金口座 京城三〇〇番

第一版

▲國境の一挨拶 アフガニ……國に向ひたるが其邸宅の如し……に行くを欲せず要求者なきため邸長は板挾となり遂に土人の市中に出で來れば引紐へて敗退し去りた……年に入……

▲銀……持來れる……れ居れり 印度政廳は今……交換し居れり一ルーピーの紙幣ならば二十枚にて一磅と交換し紙幣……の限界は不落し居る狀況なり

……り一磅百圓位に暴騰し居れるが目下日本側にては百萬圓內外の買付けをなし新く高値となりても日本製品と者へ……のホヤ位なりしが今日は各國の日本製品市場に來りて相當の信用を增し殊に印度……

▲ホームルール 現今印度の問題と成り居れる例の印度は印度人の印度たる可しと言ふホー……は印度にては餘り耳にせざりき (長崎)

露國市場の將來と諸問題(九)
對露貿易に關する諸問題(三)

露國銀行制度の發達狀況

千九百十五年露國の各商業銀行及び相互信託協會等は其創立五十周年記念祝賀會を開催せるが、此の五十年間に於ける同國銀行制度の發達は實に著しきものあり。左に最近大藏省の公表に係る商業銀行發達(株式組織)の經路を知るに足るべき數字を掲ぐべし。

年別	銀行數	支店數	資本金額(百萬留)	預金額(百萬留)
一八六五	一	一	一〇	〇、七
一八七〇	二六	一	一五、四	二六、六
一八八〇	三三	三六	八七、九	一〇〇、四
一八九〇	三四	四七	一一〇、〇	一一七、三
一九〇〇	三九	一二一	一八八、四	二七九、四
一九一〇	三一	四九三	二三六、六	六四三、七
一九一五	四〇	七四三	八六三、〇	一、四四五、三

一九一四年に於ては戰亂の勃發ありしにも關せず、銀行發展の勢ひは依然として持續し、一九一二年には其數四十五行なりしもの、一九一四年には四十七行となり、一九一五年に至りては遂に五十行に達せり。而して右の中十三行は彼得倶羅士に、八行は莫斯科に、他の二十九行は地方所在に係れり。茲に興味あるは是等商業銀行の預金保有高が戰前よりも戰時中却つて增加を見たりし事にして即ち左の如し。

	百萬留	增加歩合
一九一三年一月一日現在	二、六九四	—
一九一四年同	二、三九四、四	一〇、二%
一九一五　同	一、四六五、二	一三、二%

私人經營に係る商業銀行は露國々立銀行の保護を受くる事極めて厚きものあり、該國立銀行の報告に依れば一九一三年に於て同行は四十の銀行に資金の融通を爲したるが其金額二億四千二百二十萬留に及びたり。一九一四年に於ては銀行數四十三金額二億六千四百七十萬留一九一五年に於ては更に擴張して銀行數五十三、金額三億二千六百九十萬に達せり。同國銀行制度の發達著しく其基礎を鞏固にして堅實なるは全く同國々立銀行が機に臨み變に應じて其援助を吝まざるに歸すべきものにして、例へば現戰亂勃發の當初に於て各人爭つて預金引出を求めしが如き場合に際し國立銀行の援助の爲に各銀行の蒙りし利益は莫大なりしと云ふ。

露國の銀行制度は米國の聯邦準備制度に酷似せるものあり(譯者註)

抑も準備銀行は千九百十三年[廿三日]聯邦準備法を運用し誠に好成績を示し居れり即ち合衆國に十二個の聯邦準備銀行を設立し從來國立銀行が各自に保管死藏せる預金準備金を之に集中し此聯邦準備銀行相互間の連絡は之が統一機關たる聯邦準備局をして取扱はしむ之に依り預金準備死藏を救ひ且つ從來の國立銀行の預金準備率を低下し運用資金の額を增加し又聯邦準備銀行をして手形再割引の機關たらしめ手形を準備せる紙幣の發行を許可し以て從來合衆國銀行の缺如せし彈力性を完全に得せしめたり全國十二個の聯邦準備銀行の上に立てる聯邦準備局の指揮命令は遺憾無く行はれ居れり聯邦準備局の組織は七名の局員より成り

一、大藏大臣
二、貨幣監理官
三、大統領の指命にて上院の承認せるもの五名

此五名は合衆國を商業上並に工業上代表し得べき人物たるを要するものにして二年毎に交代して總裁たり。此五名は各經濟區域を代表し管理局は大藏卿に對立し各準備銀行を通じ其方針を統一す。全國を十二個の區劃に區分し一區劃に一個の準備銀行あり此準備銀行は株式會社組織にて株主は銀行信託會社にして加盟銀行と稱す加盟銀行は其拂込濟資本金の百分の六を聯邦準備銀行資本として出資するものとす。又聯邦顧問會議ありて其會議は少くも毎年四回華盛頓に開かる聯邦準備銀行は一人の代表者を出だし聯邦準備局との連絡を完全ならしむ

配所より配所へ
ロマノフ一家

近著露國過激派機關紙イズヴェスチヤは露國廢帝をトボルスクよりエカテリンブルグに移送せんことを委任せられたるヤコヴレフ氏の左の如き談話を掲載せり

私はロマノフ一家の出發を四月二十七日と定め諸般の準備を整へた上で出發の前夜廢帝一家の配所となつて居るトボルスク縣知事の宅に赴いた。ロマノフ氏(露國廢帝)には私の行くことを豫め通知されて居たから私が勞兵會の公式代表者であることは知つて居たが私の帶びて居た用向きまで知らなかつた。私が廢帝に向つて

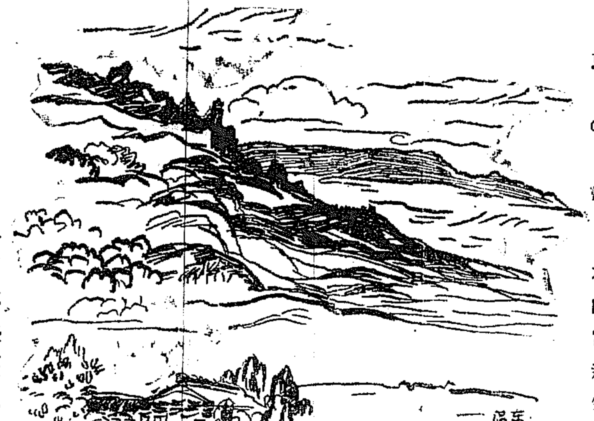
『ロマノフ氏よ、國民委員會(過激派政府)は貴下をトボルスクより移送すべく私に委任し出發は明日午前四時であるからそれまでに御準備をして下さい』

と述ることロマノフ氏は如何にも驚いたらしく多少狼狽の氣味にて

『何處へ移さうといふのです』と反問した。私は其の場所を判然とは知らないが其について護送の途中政府から何分の命令がある筈になつて居る旨を答へた。ロマノフ氏は暫く默考して居たが軈て『私は厭だ……』と言つた、此時廢后アレクサンドラは室内に入り來り我々の談話に耳をそめ私に向つて絹を裂く樣な聲で

『まア、何んて話をしてゐるのです、貴下はいくら夫と吾々を引離さうとしてもそんなことが出來るものですか。アレクセイ(前皇太子)は病氣だし……夫と分れるのは厭です』

と叫んだ私は之に答へて政府の命令書を所持して居ること廢帝のみを分離しやうとするのではなく家族全體を移すにあることを語り最後に目下旅行は困難であるから病氣中のアレクセイのみは陽春の候までトボルスクに止め置くことを附言した。ロマノフ氏はトボルスク出發に關して其家族及び近親者等と二時間餘も協議して居たが或は廢帝は娘等及タチシチエフと共に他に移り廢后はアレクセイと共にトボルスクに止るといひ或は廢后が移つて娘等が殘るといひ却々協議は纏まりさうにも見ねなかつたが、最後に廢帝、廢后、マリヤ姫、女デミドヴア及び侍者、從僕各一名づつが移り他の娘等とアレクセイ。タチシチエフ其の他の四十名は暫くトボルスクに止ることになつた。



夏の書　石田富造筆

時局と鑛業界の契約問題(六)

辯護士　吉武繁

然らば他人の鑛山より採鑛し不當の利益を得たる爲め、不當利得返還請求が出來るか、是れも出來ぬと思ふ。何となれば鑛業權は許可區域内なる鑛物を採取する權利にて、未だ採取せざる鑛物は國有に屬するものである。其採鑛は許可を得たる鑛業權者のみが採鑛し、之を利得するものにて、即ち國有たる鑛物の鑛業權を個人の所有に歸せしむるのである。採鑛するを得る權利者以外の者は國有たる鑛物を非鑛業法的に採掘するものにして、國有鑛物の不法領得の形となるものなり。斯の如き非鑛業權者の行爲に依り國有鑛物に對する採鑛は當該鑛業權者の鑛業權を侵害し不當に利得したるものにあらず、換言すれば其採掘したる鑛石が鑛業權者の採掘したるものにあらざるは勿論、又鑛業權者の所有にあらず、即ち國の所有に屬するからである。從つて買主の採掘したる鑛石が鑛業權者の財産上より不當に利得したるものにあらず、夫故に不當利得を原因として請求しても相立たざる事となる。是れ等の問題は未だ朝鮮で判例となる迄事件が惹起せぬ樣であるか、内地大審院では此等の問題が既に判例として明白である。

一、德大契約が鑛業法及判例に抵觸せざる契約方法　鑛業法上に於ては鑛業權者自身又は自己の責任に於て鑛業代理人を以て鑛業を管理し鑛物の採掘をなす事を要するものにして、其鑛業權を目的とし、鑛業權者に非ざる他人に採掘の權利を授與し、之に鑛業の管理經營を委囑し、鑛物採掘收益をなさしむる如き契約は前述の如く無効の契約でありますが、鑛業權者が他人に採掘の權利を授與し管理經營を一任するにあらずして、鑛業權者監督の下に從業者たる德大に鑛物を採取せしむる事、詳言すれば鑛業權者自ら手を下して採取もせず、採掘資金を投ずるにもあらずと雖も鑛業權者の監督の下に從業者たる德大が出資をなし德大自身に採取する契約は有効である。

八角亭閑話

朝鮮に來て居る米國宣教師の子弟で兵役に服して居る者が十數名あるさうだ。中には既に佛國の戰場で奮戰に從事して居る者がある。ノーブル氏の子息の如きは其一人である▲此等の勇士は皆朝鮮で生れた人達で或意味に於て朝鮮人である願はくは彼等に幸あれ▲宣教師といへば支那在留の米國宣教師のうちには獨逸系の者もあつて此等は親獨の傾向を有し居る▲メソヂスト派の監督ウエルシ博士は先頃支那を巡回して之を知り、かくの如きは甚だ其教旨たる正義と正義に背反するとて其主な者二三名を免職したさうだ▲ウルシ博士は又萬一にも親獨の傾向を有するが如き不心得な者が朝鮮牧師の間に有つてはよくないとて、過日の年會の節獨逸の文明と正義の敵であることを懇切に演說し『其の演說の筆記を普く部下の牧師等に配附せしめたさうだ▲支那人の間に親獨の感情を持つて居る者のあるは否み難い事實である彼等の心中を忖度すれば、一度獨逸の蠻勇に恐れ、一は獨逸が日本の勢力を支那から驅逐して其國を救ふであらうと空賴みとして居るのこ思はれる▲彼等の愚や及ぶべからず、萬一にも我日本が支那から手を引くに至つたならば支那は今日の露國同樣獨逸の蹂躙の手に壓せられて支那人は皆獨逸人の奴隷になつてしまうであらう。獨逸を救主として賴みにするは惡魔に救ひを求めると同じである

並行線 (二十二)

瀧閑村

靜子の煩悶は日を追つて加はつて來た。化學製紙の工事が進んで行くに連れて、宣太郎の影は次第に薄く成つた。過去の人として目される事が多くなつて來た。父も宣太郎と高山との人物の比較を知らぬでは無いが、破損してゐる自動車よりも完全な人力車に依らねばならぬ、事業の上から見ると之れも已むを得ない勢ひであつた。最後の苦衷を訴へた靜子の手紙にも遂に返事が無かつた。周圍には反對があるのみだ。靜子は幾日か思ひ悩み思ひ煩つた末、家を拔け出さうと心を決めた。一旦家を出たら再び此家へ歸れやうとは思はれない。見苦しく無いやうに跡の始末もして置かねばならぬ、旅費等の心配もしなければならぬ、そうして家を脱け出すべきかをも考へねばならぬ、それらの事が胸に絡み乍ら、靜子は自分の持物の始末を始めた。机にも下箱にも、それぞれ深い追懷があつた。寫眞、學校の讀本、友達の手紙、手馴れた書物なども一つ々々異なつた意味を持つてゐた。靜子は在學中の平和と希望とを思つた。其の當時には學科に追はれる苦痛、人に負けまいと力める苦痛も相應に強かつたには違ひ無いが、今にして見ればそれは極めて安易なものであつた。と共に、當時の希望の多くは幻を抱き、夢を育くんでゐたに過ぎなかつた事をも知つた。『是から先きまだ私はどんなに變るかも知れない。』と思ふと窓外に若葉した南山も可笑しいものである。親や、父母、朋友なぞ……

一昨日來靜子が食事を除り攝らないのは先づ母の怪しむ所となつた。夕飯にも靜子は一寸箸を付けたのみで、自分の室へ入つてしまつた。

『何うしたんですか、靜は此頃一向食事が進まないんですよ、貴方』後で母は山本社長に訴へた。

『何でも惡いんぢや無いか。』

『さうでも無いやうですが、どうも少し樣子が變ですよ。』

『變て、どんなに變なんだ』

そこへ女中が二三通の郵便を運んで來た。社長は裏を返して見て其の中の一通の封を切つたが、讀んで終ふと少し顏色を變へてそこへ投出した。

『怪しからん奴だ』と社長は舌をタツと鳴た。

『どうかなすつたのですか』

『池谷から、五百圓送れと云つて來た、何だか預けて置いた金でも取るやうな文句だ、少し眼を掛ると直に付上つて……不埒な奴だ』

と罵つたが、ふと思付いたやうに眉を潛めて、

『靜は池谷と何か關係がありやせんか』

『まさか……』

『俺もそう思ふが注意して〻れ』

其の夜靜子が入浴してゐる後で母は其机の抽斗から遺書を發見した、靜子の計畫はそれで破れてしまつた。

それを聞くと山本社長は非常に怒つた。

『人に金を強請した上、娘を誘出さうとする、怪しからん奴だ。僕からウンと云つてやる。』

京城電氣會社製特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八 電話四九番
金物商 島田忠作商店

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍總クロース頒美本◎七百餘頁◎定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る
發行 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部
取次 京城本町一丁目 大阪屋號　京城本町二丁目 巖松堂

帝室博物館長 股野琢先生題辭
杉原夷山先生序文
古錢大觀は日本・琉球・朝鮮・支那・安南等上古より近代に到る錢貨の年代事歷を說明し……
一和裝全三冊 送料十二錢
ふ定に本書は古錢譜界の覇王なり
古錢價格便覽 正價廿錢 送料二錢
發兌・發賣 東京日本橋中橋和泉町 振替東京一〇五九六 朝陽舍
京城本町 振替 二〇八六 電六八四 大阪屋號

珍品書畫陳列廣告
古來北京に於ける古今名人の書畫玩物の高雅なる逸品非常に多かりしも方今其大部分は大家紳士の珍藏する處となり市場に出る如きは甚だ稀に見る處に候處今回弊方に於ては古大家珍藏の粹を拔きたる逸品多數を輸入陳列致置き候間御散步旁々各位の御光臨翫賞の程願上候
京城長谷川町 書畫研究會下居
翰墨林告白

一セメント百五拾五噸
右購買ス詳細ハ七月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

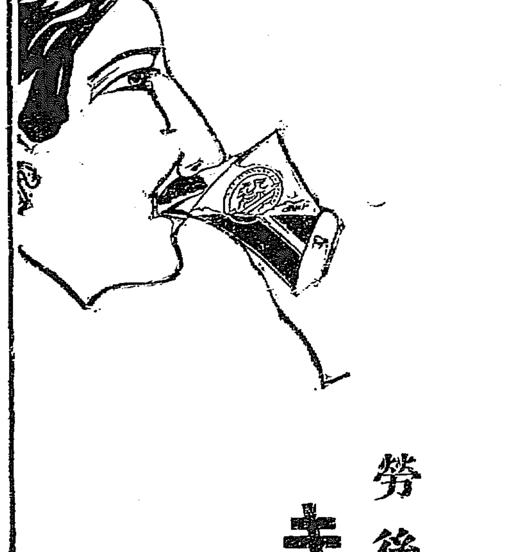
宮内省御用品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似許欺品多し本の軸部には SWAN の英字刻印押捺せり
到る所の文具店に有り 販賣元 … 大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所

金銀賞牌廿四個受領
タトへ億万長者でも
健康は絶對に
金では買へぬ
只毎食前一杯づゝの美味滋養
蜂印香竄葡萄酒は
メキ〳〵元氣健康を增進す
味つて見て下さい
美味・滋養・濃厚
全く他品に卓越す

東京本町 近藤利兵衛

工場。倉庫。病院。學校。大商店
其他大建物の常備品たる
歐米諸國に於て好評嘖々たる
アジヤツクス
化學的消火機關

使用の際の位置を示す
□火災を未然に防ぐ財産保護の利器。火災保險と相俟て一日も缺く可からず
□大火になると否とは最初の二三分間が大切なり米國に於ける統計を見ても出火の半數以上は此消火機に依り鎭火せし事實が證明せり
□使用法輕便にて婦女子と雖も使用容易なり
□□現品一度御一覽を希望す
大日本一手販賣元 神戸市三ノ宮町 合資會社 財津商店
代理店 京城黄金町一丁目 合資會社 米井商店京城出張所 電話一六九六番


勞後一杯のキリンビールは千金に優る美味
發賣元 明治屋京城支店

獨逸と極東
チ軍に對抗する爲め後貝加爾方面より目下軍隊輸送中

東京電報に據れば、極東方面に於る獨逸勢力はイルクツクを中心として益々東漸の歩を進め其の武裝俘虜は過激派軍を援助し現に北滿蒙古國境を守備し反過激派をして一指をも染むる能はざらしむるものありしが最近浦鹽にありしチエック軍の蹶起するや是に對抗す可く後貝加爾方面の兵隊は俄に動搖を初め目下極東方面に軍隊輸送中なるが猶ほ從來イルクツク附近にありし飛行機も亦烏蘇里方面に輸送され既に其の二機はニコリスク方面に南下せり(東京特電)

列國軍浦鹽警備
列國軍事官憲決議通告

チエック軍隊の浦鹽以外の過激派に對する攻撃に伴ひ浦鹽に於ける同軍の警備手薄となりたる事情に應ずる爲列國軍事官憲協議の上浦鹽を列國軍の下に置く事に決議し六日午後二時右の次第を同市長に通告せしに市長答て曰く、本件の處置は列國の好意に基づく旨確信すと(浦鹽電報)

勞農對チ軍作戰

軍事會議の決議に基づきチエックスラヴアックに對する總ての作戰上の命令發せられ前總司令官ムラビエフ大佐は勞農派軍隊の司令官に決定せり(莫斯科電報)

チ軍ニ市占領 確報

ニコリスク來電五日午後一時チエック、スラヴアック軍はニコリスク市を占領せり尚ほ同軍は更に前進しつゝあり砲彈五箇市街に落下し來れるも被害無し 本邦人一同無事なり(浦鹽電報)

西伯利出兵問題
日本の方針と米國の態度

駐支米國公使ラインシュ博士は語り曰く、チエックスラヴック軍に對し米政府が如何なる態度を執れるやは余の知る能はざる處なるも兎に角同種族の同發しき大計畫は實に盛んなりと云はざるを得ず 但し米國を經由し歐洲戰場に出動する事は差當り船舶輸送の困難あり 雄圖は雄圖なれども其の成敗には多大の疑問無き能はず日本の西伯利出兵と米政府の態度は久しく各邦間にて論究されつゝあるが此の問題は元來日本一國の方針如何に依り決定す可き性質のものなり紛々たる議論は深く問ふの必要なかる可し(東京特電)

曹錕氏全快

曹錕氏は五日病氣全快し第一路司令標札を撤廢して新に四省經略使の標札を掲げたり(北京特電)

堂島仲買總會

大阪堂島市場にては十日總會に仲買總會を開き協議せるも立會に至らず(大阪特電)

井上博士消息

井上博士は十日來清同伎小學校に於て講演し十一日鎭南浦城に赴き講演の筈なり(湖南特電)

公設市場問題(三)
遲疑逡巡すべきに非ず

中央公設市場は單に生産者組合との協同を必要とするのみならず更に進んで地方官廳との提携、內外市場との聯絡を必要とす公設市場は單に京城の市場たらしむるのみならず進んで朝鮮の中央取引市場たらしむる

▲覺悟を必要 とすべきものにして現今の如く朝鮮の經濟事情未だ統一的に紹介せられず內地交易すら尙ほ完全に行はれざる場合には市場事務所は積極的に貢獻する所なかるべからず此の事たるや單に全鮮の利源開發に有益なるのみならず自己市場の貨物蒐集上缺くべからざる也即ち地方官廳と約して其の地方の食料品を中央市場に於て取引する事とせば案外に有利なるものを發見し或は遠く之を輸移出する程の相當なる物資を得るやも計り難し假令即今に於て充分の効果を現はし得ずとするも

▲地方の農民 又は漁獵民を漸次に刺戟して市場に搬入せらるゝ貨物が年を逐ふて增加改善せらるべきは疑ひを容れず現在各官廳は施政の根本方針に從ひ全力を擧げて勸業に努めつゝありと雖も惜むらくは其の有利なる所以を實見せしむるの機會に乏しき感あり市場が此の缺點を補ふは蓋し社會に對する其の義務なるべし又內外市場との聯絡を忽せにすべからず奉天市場が營業開市すや廣く有力なる市場と連絡を保ち有無相通ぜんと欲せり大阪公設市場は其の開市に先だち各府縣の農會に援助を求め以て市場の

▲活動に遺漏 なきを期したり兩市場共に其の用意の周到なるを賞すべきなり。京城の公設市場も愈々開設の運びに至らば生産者又は地方官廳と提携するは固より內外市場との連絡も豫め講じ置かざるべからず市場附屬の問屋仲買は勿論自己の取扱ふ貨物に就ては廣く取引を爲すに相違なしと雖も市場は彼等にのみ之を委ねて晏如たるべきにあらず宜しく市場自身が更に大に活動して商人を援助し市民の利益を慮らざるべからず例へば京阪、上海、青島浦鹽哈爾賓等の食料品の種類物價を調査して商人又は生産者に通告し

▲價格の差違 を注意して或は輸移出を奬め或は輸移入を計り或は生産を制限し勸誘し機に應じ宜しきに從つて進退し臨所臨時に主となるの覺悟あるを要するが如し以上述ぶる所蓋し公設市場機能發現に關する保障たるべし即ち之れあるに依りて京城府の生産者を統轄し朝鮮內の食料品を網羅し進んで對外的關係を調節し茲に始めて市民の滿足を買ひ得べき也此等の事項は悉く緊要缺くべからざるものなれば市場經營の局に當るものは單に之をして議論に終らしめず必ず實現せしめられん事希望に堪へず。思ふに方今

▲社會的設備 の公共の力に俟たざるべからざるもの多々あり京城の如き都市には特に其の痛切なるもの抑からざるを覺ゆ京城府が其の實行に勇敢にして問題の起るに從つて落々處斷せられむことを望む市場問題は此等社會問題の一端而已素より遲疑逡巡すべきに非ざる也(完)

本年上半期 關稅收入

朝鮮貿易の累進に伴ひ關稅收入も亦頗る好調を呈しつゝあり乃ち六月中に於ける收入は左の如し

輸移出稅	三三、七七五
輸移入稅	六四二、八〇八
噸稅	五、八七九
雜收入	一四、二六三
合計	六九五、七二九

而して一月以降の累計乃ち上半期の關稅總收入は四百八十四萬一千零二十圓を示し前年に比し百十八萬圓の增收なりと

鮮銀本店帳尻

朝鮮銀行本店營業課の上半期末帳尻を聞くに預金は三千零四十五口二千三百四十萬一千圓を示し之れを前月に比すれば百七十六口二十萬六千圓を減ぜり尙ほ貸出は七百七十口にして一千四百二十八萬圓となり口數は若干減ぜるも金額は百三十五萬九千圓の增加せり

京城 府稅徵收狀況

大正七年度第一期京城府々稅徵收狀況を聞くに六月末日現在に於て調定額十萬九千三百十九圓に對し納入濟額八萬四千四百九十二圓差引二萬四千八百二十七圓は未收入金にして此の收入步合七割七步三厘を示し成績漸次好況なるも尙ほ二割二分七厘の未納者あり之に對し京城府に於ては不日滯納處分を斷行すべく目下準備中なりと而して右の稅別徵收狀況を見れば左の如し

▲特別戶別稅 二萬九千三百六十六圓の調定額に對し二萬二千八百四十三圓の收入あり即ち未納額六千五百二十三圓を算せり

▲營業稅に在りては調定濟額六萬三千二百一圓に對し收入濟額五萬二百三圓あり此の未納額一萬二千九百九十八圓を算す

▲雜種稅に於ては一萬四千百二十八圓の調定濟額に對し八千八百二十二圓の收入あり此の未納額五千三百六圓なり

▲電柱稅に在りては調定額二千六百二十四圓に對し二千六百二十四圓の收入なり

即ち合計に於て十萬九千三百十九圓の調定濟額に對し八萬四千四百九十二圓の收入を見結局二萬四千八百二十七圓の未收入額となり前記の如く收入步合全體に就いて七割七步三厘を示すものなり尙右各種府稅に關する督促狀發布狀況左の如し

年度	納期經過後督促狀發布期日	發送通數
五年度	三十九日間	一九、〇九九
六年度	二十四日間	一六、〇二八
七年度	十五日間	二〇、九四二

右表の如く納期經過後督促狀發付期間の漸次短縮せられたるにも拘はらず督促通數漸次減少し居れる事結局納入成績の向上を示す者也

內鮮人通信力

遞信局調査普通郵便物の大正六年度に於ける引受け數により內鮮人の通信力比較を見るに總通數九千六百七萬通中內地人發郵便數は七千四百八十一萬通朝鮮人は二千百十六萬通に付內地人三十萬人の發信は一人平均二百五十通となり鮮人の發信數は人口を一千五百萬人と見積り一人平均一年の發信一通半となり通信力の軒輊甚だしきを窺ひ得べし更に宛名並に差出人不明のため還附不能なる郵便物數を聞くに左の如し

▲四月 總數八百七十八通の內內地人二百九十七通朝鮮人分五百八十一通

▲五月 總數九百六十二通の中內地人三百十九通朝鮮人六百四十三通

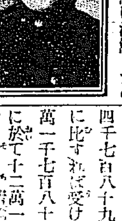
乃ち朝鮮人の差出す郵便物は總數の[illegible]に比し宛名並に差出人不明の郵便物多きを知るべしと

裁判所取扱事件數

大正七年五月中朝鮮總督府裁判所及び檢事局に於て取扱ひたる事件數は民事事件新受十萬九千八百三十九件舊受三千三百七十二件合計十一萬三千二百十一件にして終局したるもの十萬九千七百九十二件終局せざるもの三千四百十九件之を前月に比すれば新受七千百四十一件終局したるもの六千九百六十六件終局せざるもの四十七件を增加し舊受百二十八件を減少せり又刑事事件は新受二千七百八十九件舊受六百十四件合計三千四百三件にして終局したるもの二千七百七十二件終局せざるもの六百三十一件之を前月に比すれば新受八十件舊受百五十六件終局したるもの二百五十三件を減少し終局せざるもの十七件を增加せり檢事受理事件は新受五千九百六十件舊受千百八件合計七千六十八件にして終局したるもの五千九百十九件前月に比し終局したるもの十二件終局せざるもの四十二件を增加し舊受九十四件を減少せり

內地人郡守(九)

(光州) 山崎信之氏



山崎信之氏は明治三十七年迄丸龜稅務監督局屬であつたが後栃木縣稅務署長となり朝鮮に渡鮮したのは明治四十一年光州財務署主事に任命され四十三年二月同財務監督局經理課長となり十月全羅南道書記四十四年羅州郡に任ぜられ南郡主任書記となつた人頗る敏腕家だとの評があり地方産業の開發上には大いに努力す可く期待されつゝある

東拓移民と養蠶

東拓移民の養蠶は會社にても有利の副業として其の飼育を奬勵しつゝあるがその準備として本年植附けし桑園は約六十町步に上り之れを前年までの五十町步に加ふれば百十町步となる由尙ほ漸次奬勵をなすべし

鮮銀爲替取組

朝鮮銀行本店六月中に於ける爲替取組高を聞くに受け入一千二百十五萬八千五百十七圓拂出七百七十一萬四千七百八十九圓にして之を前月に比すれば受け人に於て百七十九萬一千七百八十二圓を增加し拂出に於て十二萬一千百四十圓を減少せり其の地方別左の如し(△減)

	受入	拂出
鮮內	三、七九九、三〇四	五、九九九、〇四一
內地	七、九五七、一〇〇	一、五〇四、五一三
滿洲及浦鹽	六〇四、一四四	三五七、〇六九
外國	三三一、四四	二五二、三八
計	一二、一五八、五一七	七、七一四、七八九
前月對增減	一、七九一、七八二	△一二一、一四〇

京釜線全通

晟歡院半澤間の線路故障のため不通となり居りし京釜線は復舊工事完成し十日午後八時開通するに至り同日朝釜山發の南行列車は十一日午前五時南大門驛に到着せり

鮮銀招待宴

朝鮮銀行にては十二日午後七時入京中の有松法制局長官一行三名を明月館に招待し晩餐會を開く由なるが鮮銀側よりは各重役局長及び秘書役等列席すべし

軍司令官動靜

松川軍司令官は八日碧潼に到着の旨軍司令部に電報ありたるが江界行を中止したるを以て歸任を速め十二日頃には新義州に着すべしと

書籍を戰場へ
莫大な部數

米國の戰時熱は各方面に亘つて殆ど未曾有の最高記錄を作つてゐる兵員輸送は勿論兵器彈藥は言ふも更なり無盡藏の食糧庫よりは輸送力の最大限度を盡くし戰場へ送るその熱烈なる努力は只々

◇舌を捲く 許りである所でこの頃は單に物質的食糧のみを戰地へ送ることを以て滿足せず更に今春來途方もない大努力を以て精神の糧である書籍を戰地へ送ることは只驚嘆の外はない先づ本年の始めたその努力振りを巨細に調べ三月中に米國から佛國の戰場へ輸送した書籍の數は二百五十萬と云ふレコードを作つてゐるこの莫大なる書籍は假りに

◇五千噸の 汽船に滿載したとしても二隻なければ運び切れぬさうで而も四月には數に於て更に夫れ以上を輸送してゐると云ふことだ何しろ米國各地の大小學校及び圖書館では必死の勢力を傾注して戰地行の書籍を蒐集してゐる各地の有志者は個人と團體とを問はずこの運動に熱狂的な大應援を與へてゐる特にこの爲めに米國圖書館協會と云ふのが組織され

◇尨然たる 機關雜誌數種を刊行されて旺んに發刊圖書を購ひ特に戰場兵士より注文して來れる分に對し一々之が發送の任務を盡すことになつてゐる猶ほ四月の初に競賣に依つて得たる資金を以て購ひたる各種の新刊圖書は實に卅萬部の多きに達したと云ふことである戰地に輸送すべき圖書の分類は非常に

◇廣汎に亘 り古今の哲學文藝宗教政治法律經濟理化學工學農業から手工の末技に到る迄凡そ兵士に穩健有益なる智識を供給する種類のものは悉く網羅すべく萬丈の氣焔を吐いてゐる其各代表者は殆ど毎週の樣に各地に協議大會を開催する其爲め路傍說教も有れば戶別訪問も遣る大學して示威運動も起るそして基督教青年會と少年義勇軍等の手でドシドシ蒐めた圖書が

◇組織的に 處理されてゐる四月の初旬に於ける如き纔か一週間の努力の結果が五十萬冊餘の莫大なる書籍を戰地へ送つたのである今や方に歐洲戰場は圖書を以て飾られた學藝の叢苑であると迄も硝煙深く隱高く平板の戲を放れて立體的な場景に入つて來た歐洲戰場は實に新に生まれんとする科學の搖籃とも謂ふべきであらう(米國際新聞)

關稅課長講演

矢鍋總督府關稅課長は十日京城工業專門學校にて開催中の實科敎員講習會に於て最近朝鮮貿易の趨勢に就き講演を爲せり

廣瀨經理部長

五日發新義州平壤方面へ出張せる廣瀨軍經理部長は十日午前[illegible]十三日歸任の豫定なり

阿部氏發期

出發延期中なりし前本社長阿部充家氏は愈々十二日午前八時四十分南大門發列車にて發程東上の途に就く由

東拓の出版

東拓にては南米伯剌西爾の最近事情及び伯剌西爾移民の二冊を出版各方面に配附したり

鮮銀の出版

鮮銀東京支店にては獨逸海外銀行の[illegible]を出版各方面に配附したり

武田、森兩主計出張

軍經理部附武田二等主計は森主計と共に經理監査のため十六日大邱浦項慶州珍寧化醴泉地方へ出張十日歸任の豫定なりと

廣生鑛業支配人

總督府度支部司計課に在勤中なりし筑田和平氏は這回辭職し京城南山洞一丁目廣生鑛業事務所支配人に就任せり

人

▲谷口與四郎氏(富山縣[illegible])十日夜入京天眞樓へ ▲木原小平氏([illegible])同上 不知火旅館へ ▲金原信良氏(大倉組技師)[illegible] 京 ▲高津友保氏(新任[illegible]郡守)十二日前十一時半發列車にて出發赴任の途

百聞百種

獨逸全國は隅から隅迄間諜制度が好く行き屆いて居て▲一聲でもカイゼルや政府當局に對して挑戰らしい言を放つ者があると片ッ端から引つ縛つて監獄へ投込む▲此處で伯林の太い監獄などは大入滿員一杯の群衆で押すな押すなの騷ぎ▲之等の罪人は皆家の內外でカイゼルやヒンデンブルグの惡口を云つて居るを聞かれた者ばかりである▲其れで今日中でも人の居る處では滅多に口を利く事も出來ぬ▲親しい友達に出合つても一寸挨拶位に止めて行く▲誰も彼れも噂の旅行をやつて居るがお手のもの、間諜政策を國內でやるから其ら猛烈だらう▲目下の伯林大學には四千人ばかりの學生が居るが其大部分は女でなければ戰場から歸つた不具者である▲片腕の教授が教壇に立つて講義をすると義眼や盲目の學生が耳を澄して謹聽して居る奇觀も敢て珍らしくはない▲何方を向いても義手義足義眼義手と氣味惡い地獄の圖を見る樣だ▲西部戰線で獨逸が大攻勢を始めやうとした時一教授は『世界は今に獨逸の優越を思ひ知るであらう』と▲ドンと机を叩いて勵聲一番した拍子に義足が外れて教壇から下へ轉がり落ちたとはまさか……。

春崎鐵道 延長

[illegible]

△從つて六月中 甲信地方の主要驛(與林工場所在)に對し 下諏訪 岡谷 上諏訪 [illegible] 物の利益多き關係上 岡谷 辰野 松本 [illegible] 進みの氣勢あれば本月に於いては[illegible]於ける貨車の配給は[illegible]宜しきを[illegible]

飛行 郵便計畫

[illegible]を視察して歸朝せる遞信局郵便課長浦原久四郎氏を訪へば現今の[illegible]勝ると數等である米國政府では現在[illegible]華盛頓間に定期の郵便飛行[illegible]には此方法を執るが得策であらう[illegible]和の利器とする爲に郵便飛行は[illegible]府の屈强なる事業であらう(東京)

寫眞 出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし御需めに應じ候 京日寫眞製版部

法人及商業 登記公告 京城地方法院 [illegible]

最新刊 京城地方法院 [illegible]

◎鮮語階梯 [illegible]

布陣挑戰法 [illegible]

鐵道旅行案內 [illegible]

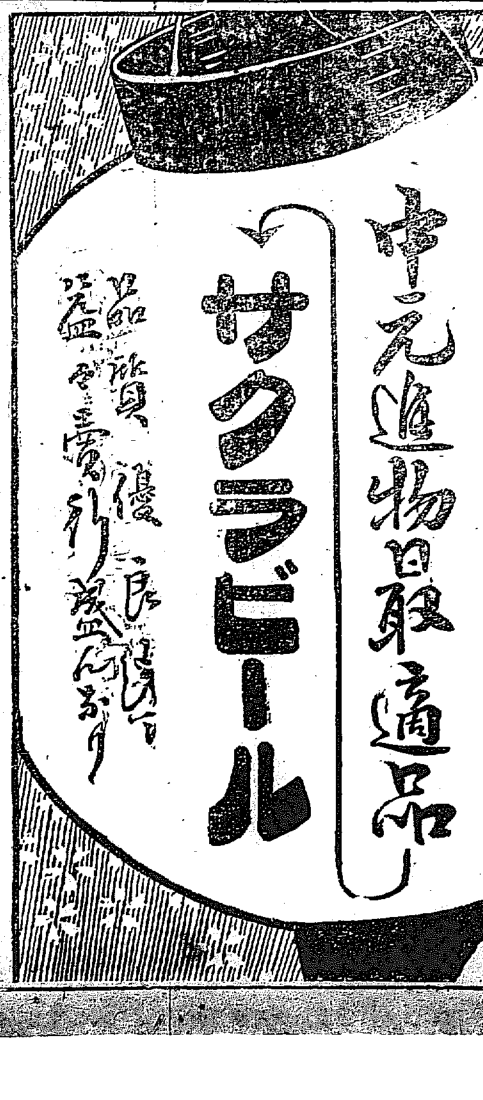
◎東京夜話 少女の [illegible]

京城本町 大阪屋號書店

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
司法大臣 松室致閣下題字 京城地方法院所屬 法學士 加古貞太郎先生序文 辯護士 韓國財政顧問附 小笠原寬先生序文 法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂
大正七年一月一日現在 正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓 郵税十八錢 本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯混雜せる沿革を明にしたる一目瞭然にして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革日鮮、清、西歷との詳細なる對照年號を示し管區數人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、産物名稱舊跡溫泉其他の概況を掲げ 本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、産業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

品質第一 誠實第一 行賣第一
キッコーウリ 最上醬油 釀造元 仁川港 日本醬油株式會社 京城出張所 京城太平通二丁目 電話二四五番

爆藥 Alfred Nobel NOBEL'S EXPLOSIVES COMPANY LIMITED TRADE MARK GLASGOW
英國グラスゴーノーブル爆藥會社朝鮮總代理店 三井物産株式會社京城支店專屬販賣店 京釜線黃澗驛前 (振替口座京城一六五二番)
銃砲火藥卸商 三共商會
弊店主は多年朝鮮土木工業界の所要火藥類の責任供給を爲し來現に京釜線改良工事用並に外人金鑛其他幾多の鑛業會社等大口需用供給の恩命を拜し居候



●夏の元山
海水浴の設備
外人避暑客多し
戰爭氣分の米國獨立祭

元山も愈々海水浴季節となつて府營經營の支那町下の海水浴場も運動部濱の海水浴場もぼつぼつ開設の準備中であるが鐵道側でも專屬の設備を施す可く目下
◆研究中 であるが昨年傳染病が流行した關係上各方面から其向きの照會が續々やつて來ると共に家屋撰定の依頼狀も大分來るやうである元山から陸路一里小蒸汽で約十五分ばかりの處にある斗南里は外國人の
◆避暑地 があるので有名であるが本年は既に數百名乘込んで居る避暑客は重に在鮮宣教師及び家族で自治的に頗る理想的に一夏を過ごすのであるが去る四日米國獨立記念祭の如きは戰時だと言ふので餘興に大人から少年少女に至るまで規律正しい
◆軍隊式 の運動を行ひ加奈陀新聞記者法文博マクドナル氏は米國の獨立と云ふ題下に歴史的の講演をなし最後に本國赤十字社に對する義捐金募集を行つたなど米國人の緊張した戰爭氣分を發揮するなど頗る興味あるものであつたと是から
◆炎暑に 向ふに從つて鮮内各地の歐米人が集まるので多い時は五六十名に達する相である（元山より）

●賑つて來た
釋王寺

別莊が新築される京元線中の避暑地として名高い釋王寺は昨年までは宋子爵閔李王職長官の別莊二棟に過ぎなかつたが本年は新たに李夏榮子爵鮎貝房之進諸氏の
◆別莊 新築せらるゝなど避暑季節に入つて頓に賑つて來た石田鶴松園は內鮮折衷の客室を增築したが過般來同館に滯留中であつた趙重應子爵は本月初歸京し中旬頃には再び出向く筈
◆翠綠 滴り溪流潺潺たる幽邃境の釋王寺も之からは京城の貴族や富豪連の天地となるであらう

●古代鑄造の神馬像
發見さる

北鏡城郡蘆洞面長張星日（三九）は同面白石洞の栗木山に
◆古代 埋藏物あるを聞き勝手を知り居れる元役弘を案內とし七月五日同山を探査せしに山腹土中より丈け九寸高さ六寸六分重量一貫九百六十三匁ある鐵鑄製の馬像を發掘せり由來
◆傳說 等は確ならざるが昔支那の王樣が栗木山を眺めたる際此の山は荒れる勢あるより其の威勢を抑壓する爲め鐵鑄製の神馬を埋めたるものにて此の
◆神馬 が發見せられざる間は山神の祟ることなしと言ひ傳へられあり何れ二千年以上を經過したるものならんと

●德壽宮の石
塀崩壞

十日午後七時半頃德壽宮大漢門左側の石塀約十間許り一大音響と共に崩壞し大騷ぎを惹起したるが原因は下水工事にて石塀の根元を掘下げ地盤緩みし爲めらしく外部は道路にして折柄通行者多數ありしも拘らず死傷者なかりしは幸ひなりき

●東海丸行方
再び大青島に

東京商船會社所有東海丸（五三一噸）が行方不明となれるは既報の如くなるが其後九日に至り八日午後五時より再び東海丸らしき船大青島に避難せるを認め九日午前六時迄之を望見し得たるも濃霧のため遂に其後の船影を認むる能はず此の電報仁川海事出張所へ達したり目下詳細の狀況照會中なりと之を以て見れば去る三日以降大青島に避難したるは或は東海丸にあらずやと推測せらる而して七日出航したるも濃霧のため航行困難にて再び引返し避難せるものにあらずやと想像せられつゝあり

◇歡喜に輝く
新博士邸
嬉し相な奧樣
女中さん迄が得意

灰を溶かしたやうな九日の午後新理學博士小林晴治郎氏のお宅を訪ふ、お宅は東小門際の崇二洞で黑板塀をめぐらした瀟洒な構、窓を明けるとコンモリ繁つた
◆秘苑 の森が綠のやうに見ゆる、刺を通じると恰度森安博士の奧さんがお喜びに來られたところ『暫く此方でお待ち下さい……』とあつて通されたのは主人博士の書齋である、書齋は四疊半ぐらゐ後の書棚には金文字入りの洋書やノートが一杯詰つてゐる、奧さんは洋書やノートから博士が生れたのだなと思ひながら待つてゐると奧の方から
◆賑か な笑ひ聲……それは本當に賑やかな如何にも歡喜に充ちたやうな笑ひ聲が漂うて來る森安博士の奧さんが歸られると直奧へ通された、一閑張の机を眞ん中に和服姿の主人と對坐する、床には金應元の蘭、その横に琴が立てかけてある外何の
◆裝飾 もない所が却つて床しい『結構なお住居です』と云ふと『はあ、この家は前に居た人が自分の住居として建てたのですから割合に好く出來てるやうです、然し蠅が多くて……』と主人は被
◆若い 美しい方、何處から見ても二人の坊ちやん孃ちやんの阿母さんとは思へぬくらゐ『お芽出度う御座います』とお喜びを申上げると『有難う御座いますお蔭樣で……』と流石に嬉し相、其處へ女中さんがお茶を運んで來る思ひ爲しか今日はこの女中さん迄が何んだか
◆鼻を 高くしてゐるやうだ『記念に寫眞を……』と云へば奧さんは『新聞にお出しになるから嫌ですわ』と笑ひながら……幾らお願ひしてもお肯きにならぬ、乃で奧さん丈は斷念し御主人とお子供さんをパッチリこの通り

●布教僧に
飛行機の講演

八日長岡中將は芝增上寺に於て府下布教僧數百名に對し四時間に亘り飛行機講演をなせり、布教僧は今後全國に於ての布教に際し空中防備の必用を力說する由なり（東京特電）

●海底線修理
十三日より著手

佐世保大連間の海底電線は目下尚不通にして之が爲め電報の大延著を來しつゝあること既報の如くなるが聞く所に依れば遞信修理船は愈々來る十三日長崎を發し修理に取懸る由

●賣れの好い
京大の新學士

京大の新學士三百五十名は既に全部契約濟と爲り月給は四十圓乃至七十圓の間なるが事業會社に入る者尤も多く官吏方面は極めて少し（大阪特電）

●增貫に懲役
二月の求刑

八日東京地方裁判所公判廷に於て鹽野檢事は期米買締の巨魁增田貫一に對し懲役二箇月を求刑せり（東京特電）

●女蕩しの賊
內緣を結んでは女の物を窃取す

忠北鎭川郡鎭川面邑內里生れ朴敬照（三三）は音產數萬圓の財產家の悴なるが昨年舊十二月より京城都染洞の金玉子と內緣を結びて同棲中玉子の出外不在の際に乘じ二回に玉子所有の
▲金簪 一本（百十一圓）金指輪一個（二百五十圓）を窃取して茶屋町の質屋孫完根方へ百餘圓に入質し又玉子の印章を盜擦して自己の振出にて清進洞宋淳娜宛額面三百圓の僞造約手を以て宋より二百十圓を騙取したるが殘り少なに玉子の財產を絞り上げたる後は同人を突き放し清進洞の妓生金伐珠に關係をつけて同棲し六月初め同女の上等
▲周衣 外十三點（二百八十五圓）を窃取して入質し兩女の盜難被害の際は何れも外部より賊が侵入したるが如く裝ひ居り次は竹添町二丁目の妓生金玉慈を連れ自動車にて黃金町の料理屋漁金樓にて遊興し玉慈を酩酊させ同女が嵌めたる金
▲指輪 二箇六十二圓餘を拔き取る等外數箇所にて合計一千餘圓の窃盜詐欺を働きゐたる所を鍾路署に逮捕され取調べの上檢事局送りとなれり

▽うつかり喰べられない
▣夏の喰合せ
胃酸の多い人の喰べられぬもの

これからだんだんと暑くなるにつれ、朝煮たものでも夜はもう酢くなるといふ時節柄、うつかりしたものは頂けません殊に平常から胃腸のあまり丈夫でない人は、少しの食傷りから
◆大事を惹きおこす やうな例が間々ありますから、よほど注意をいたさなければなりません夏の食物との喰合せといふやうな事につき漢方醫のお話を伺ひますと『食合せものは夏に限らず冬にも度々ありますが、夏に殊更多いといふ原因は食物の腐敗しやすいのと
▽人の胃腸が暑さ のために幾分弱つてゐるからであります。此間蟹の天ぷらと卵燒きで中毒を起した人がありましたが、あれは別に喰合せでも何でありません多分少し腐敗りかゝつてゐたからでありませう。兎に角蟹を喰る時には何んなに新しいものであつても喰方に細かく注意しなければならないのです蟹の手足をもいでから甲羅を剝がします
◆肉のある方にガニ といふ眞白な百合の根の細長い一ひら一ひらを並べたやうなものがあります。あれをまちがつて喰べたりいたしますと中毒することがあります。料理屋などで急ぐあまりに、あのガニを入れて天ぷらなどにしますと、それが若し生揚げで……もありました場合
▽中毒らぬとも 限りませんそれから鰻……あれなども喰べ合せわるいものが二つほどありますその一つは生瓜（まくわ瓜や胡瓜など）もう一つは冷水ですが、鰻を喰て一時間も經たないうちに生瓜を喰たり或は冷水を飲んだりしますときつとはげしい腹痛が起つて來ます。はなはだしいのになりますと
◆一晩のうちに命を とられるやうな例もあります。それに田螺と梅干これも喰合せものですからよく氣をつけなければなりませんよく
▽田舍の山野に 生えて居る腹痛の妙藥のせんぶりといふ苦い藥がありますがあれと唐辛しのやうな辛いものとを喰合せると立所に即死いたします」つまり一つ一つに、はなれてゐれば藥になるものでも二つ一緒に胃の中で交りますと一種の毒素を生じ
◆腸內にはびこつて 胃腸を害し遂に腸をまで冒して倒れるやうになるのです凡て物を喰合せた時は醫師の來るまでの應急手當として喰たものを悉く腹から出して了ふに限ります、それにはヒシ油を用るがいちばん宜しい分量は十五グラム位が適當です、かうしておけば時間さへ早ければ大抵
▲七分どほりは
下痢して了ひますそれから胃に酸の多い人の食て惡いものは、うどん、そば、おさつ、さといも、じやがいも、じねんじやう、つくいも、くり、野菜、たうなす、あぶらもの、すつぱいもの、酒、菓子、さとう、もち、もち米、小豆、鹽魚、にがいもの、しようが、わさび、からし、味噌、つけもの、麥飯、粥、茶等で
◆喰てよろしいものは 牛肉、鷄肉、鮎、はや、ふな、ごぜう、海さかな、黑鯛、さうふ、大根、牛蒡、にんじん、鷄卵、牛乳などで胃に酸の少い人はこの反對にいたせばよろしいのです

◆蝎の話
恐ろしい毒蟲
◇朝鮮にも居る◇

世間では最も嫌惡すべきものゝ喩に蛇蝎を擧げるが其內の後者の蝎に對して日本人は殆んど無智識であると云つてよく、現に朝鮮にも居るし私等の居る京城にも非常に多く、刺されたものも尠くないこれについての多少の智識は必要だらうと思ふて最近青島より入京した某博物學教諭は語る蝎は熱帶及び溫帶地方に廣く產し日中は石下若くは樹皮の下等に隱れ夜間出でて食餌を索むるが食物は主として昆蟲及び蜘蛛類にて上顎（前顎）にて餌を握り
◆…尾の刺にて之を殺し後其の液汁を吸ふ…◆
のである何れも卵生でなく胎生である步行の際は眼は普通八ッあるも側方に偏してるので眞正面を見ることは一寸六ツヶ敷い故に肢の爪で地を觸りては其の進むべき方向を定めるのである其の際
◆…鈎を有する尾をば常に背上に於て前…◆
方に曲げて運搬するが一度靜止するときは之を體の一側に曲げる餌を取る時は先づ鋏で之を掘る若し餌が暴行を加へる樣であると尾を背上より前方に捲き出し之にて一二度餌をば刺して沈默せしむるのである其の毒鉤にて刺せば弱い餌であると
◆…直に麻痺され死んで了ふ人間に對し…◆
ては世間で怖れて居る程の毒効力が無い青島高女の生徒中にも刺されたる者が有るが手當が早かつた爲かも知れぬが三日程痛んだが後間もなく全快した相で形態は頭と胸部とが合一して
◆…關節のない頭胸部と長き關節を有す…◆
る腹部とより出來て居るそして其最後の關節には毒液を出す刺があり一見すると此前腹部の所が頭胸部の樣に後腹部が只腹部又は尾の樣に見ゆて間違ひ易い第二腹節は一對の櫛狀の附屬物がある其の櫛の齒は種類によりて異なつて居る
◆…青島で採取したものは各十七箇の櫛齒…◆
がある頭は素人眼には無い樣に見ゆる又實際頭部として獨立したるものはない上面に眼が一對ある其の少し前方側面に三對の小眼がある夫で皆で八箇の小眼があることになる口器の前顎は小形で一寸螯狀をなし後は步肢狀をなして長大で
◆…先端が大なる螯となつて居る觸脚を…◆
を捕へる用をする步肢は四對で先端は何れも二爪を有して居る下面から見ると前腹部の第三四五六節には對をなして裂目がある此れが肺囊の開孔で所謂空氣呼吸器である體色種類によりて異なるが（一）つくしさそり（青島）で捕りし物は
◆…頭胸部前腹部は褐撥褐色乃至黑色で…◆
後腹部即ち尾は第五節のみ黑味あるが他は黃褐色である且つ多くの纖滴がある體長二寸位（二）八重山產のそれであると赤色である尾は黑し肢は黃土色櫛齒五…八枚多くは六枚一寸餘（體長）（三）まださそり總色黃土色で黑き斑紋あり尾は甚だ長し櫛齒十七…十九枚一、支那、滿洲、朝鮮、蒙古及び本邦に產す

●モヒ患者收容
男女四十一名

京畿道警務部にては這回京城西大門町一丁目元私立女學校の建物を中毒患者收容所に充たるが本町警察署にては九日夜管內居住の阿片讀比寺の中毒患者朝鮮人男女四十一名を拾ひ上げ十日右の收容所に送致せしが患者の中には朝鮮第一の名妓と稱せらるゝ朴春紅と云ふ者あり

運動界

▽早大庭球團來京 目下滿洲遠征中なる早稻田大學庭球團一行は同地遠征を了へて七月十六日午後七時南大門著入京すべし
▲鐵道對法政試合 法政大學野球團一行は九日出發內地に向ひたるも京釜線不通のため再び引返し入京せるを以て今十日午後四時より龍山鐵道グラウンドに於て同鐵道軍と試合を行ふべしと

人から嫌はれる わきが
◎音尾博士先生創見 化學的療法無代進呈
責任ある確信で早くなほしなさい 全治して喜び

◎內地行人夫募集 一傭入先 大阪大林組 [illegible] 參百名 小川隼人

富の道しるべ [illegible]

京日案內 [illegible]

日鮮人外務員招聘 [illegible]

內地人女子募集 總督府印刷所

氷卸販賣人募集 [illegible]

恩給 年金 [illegible] 西村商會

◎左官用布海苔 銀杏草並に櫻草 諸海草卸商 山本商店

年金恩給 [illegible] 江州屋本店

凉しいお化粧
その二

薄化粧なら
レート水白粉
▽上品で垢拔けのした
▽申分のない美くしさ

こうして美くしくなれます

▽夏の美しい ものゝ一つは湯上りの薄化粧です。全體薄化粧は、自然の白さの美くしさがなければ『アヽ美くしい』といふ事が出來ません。卽ち、地肌から浮き出す自然の白さに色艶があつてこそ、湯上りなどに殊に美くしさが目立つのでムいます。
▽處が普通の 白粉だと、只、白く附くばかりですから。薄化粧の眞の美くしさがムいません。その上、夜目に色が變つたり、色がクスんだりして大層下品でムいます『美人』といはれるには、飽くまでも上品でなければ其資格はないと思ひます。
▽高貴方から 御用命の光榮に浴して居るレート白粉は『上品で美くしく』といふ御意向を專らとして。原料から、製法から、選りに選つた上に、最新發見の新美容素を配伍て、專門の技師が充分撿査した上で出來たものでムいますから、何處に一點の批難もないは勿論
▽誰の肌にも ピッタリ適つて、お化粧の品格を高めます事は到底他の白粉では見る事も出來ぬ特長で、これが東京の化學工業博覽會で名譽の金牌を受領した理由。又流行の粹として世間一般から賞讃されて居る處でムいます。さて美くしい
▽薄化粧には レートチエリーを下地に引いた上へレート水白粉をお附けになれば、尤も完全な美くしいお化粧が出來上ります。全體、レート水白粉は地から粒へてキンノリ浮き出す自然の白さに上品な艶がありますから、湯上りの肌には殊の外
▽シツクリ適 つて、夜目にも色が變らず、色がクスマず、見る目にも涼しさが溢るゝばかり、夕月の消く美くしいのにも決して勝るとも劣りません。この夏貴女を美人とするものは、慥にレート水白粉の御使用にあること斷言致します。

レート化粧料本舖
東京 平尾贊平

妻の心（三十四）

六の六　小林蹴月作　武内桂舟畫

『本統に飛んだお世話をかけましたね。』と、禮子は、着物の前を掻き合はせながら起ち上つた。

若龍は、その背後へ廻つて、透い透通るやうな華奢なサンマーを掛てやりつゝ、その窶れた艶のない頸脚を覗いて、心から禮子を氣の毒に思つた。

『奥様、病後のこつてすから、お氣を付け遊ばしませ。』

『有がたう……。』

禮子は、氣分だけは緊乎して居る了簡でも、少時坐りつめて居て脚節の異状の爲めに、思はず廊下でひよろ付いたのである。

『あら、お危う……。』と、若龍は抱へるやうに背を支へて、

『あの、お供さんがお待ちしてお在るんで御座いませうね。』

『はあ、待つこるやうこ申しこきましたから、貴女、お忙しいのにお送りにならずに下さい。』

『いゝえ、忙しい事も何も有りや爲ないんで御座いますの。』と、若龍は、飽まで親切に禮子を門口まで送つて、俥に乗る所までちやんこ手を把つて扶け載せてから後、初めて『御機嫌好う』と、別れを告げたのである。

『若龍さん、珍しいお客様だわね。』と、女中の一人が、冷笑半分に若龍の肩を突いた。若龍は、勃こ氣が付いたやうに振返つて

『眞個よ、妾此の齢まで藝妓を爲てよも、奥様一人のお座敷つてのは、是が嚆矢てだわ。』

『何だか御病人見たよな方ね。肺病ぢやなくて？』

『何ごも知れないわ。だけごも眞個お氣の毒な方なのよ。』

『何う、何方の奥様なの。』

『お西姐さんにも似合はない。大抵察しが付きさうなもんぢやないの。彼れが代議士の町川さんの奥様なのよ。』

『まあ、町川さんの……彼のやんちやの町川さんの奥様にしちや、莫迦に素敵いわね。』

『町川さんが、餘り心配ばかりお掛けになるから、それで彼様になつてお了ひなんだわ。彼れを考へると、本統に藝妓ほご罪なものはありや爲ないわ。』

ほんの廊下先の立話ではあるが若龍は、心底逆倒的に、藝妓なるものゝ罪深き事を悟つたのである。

『そりや然うと、若龍さん、紅葉の間でお待ちかねだわ。』

『今行きますわ。少し風にでも當つて餘炎をぬいてからでなくちや氣が詰つて肩が凝つて仕方ありや爲ないんですもの。』

『町川さんのやんちやが傳染して、お前さんも随分の駄々ッ子だね。氣の詰るやうなお客さんぢやなくてよ。矢張お前さんの御親類筋だわよ。』

『御冗戯でせう。そんなに矢鱈無性に御親類筋があつて堪るもんですかね。お西姐さん、一體お客さまは誰？』

『誰でも好いぢやないの。行つて見りや分るわ。』

『折角だから、三十分間も勤めに來ませうかね。』と、若龍はくさくさしたやうな容子で、裾を引摺りながら泳ぐやうに階子段を昇つた。そして角から三ッ目の紅葉の間の障子をがらッ開けるこ、妹藝妓の小龍こ對面で、床の間を背後に、夕栄の如き額をてらてらこ輝かして居る若紳士は、疑ひもなく櫻井順吉郎であつた。

『まあ、櫻井さんなの。』と、若龍は、二度吃驚の態であつたが、同時に又、今夜のやうな變手古な異體の分らない晩はないこ思つた。

『やあ、若龍君かね。森ヶ崎で新婚旅行のお娯み最中偶然お目にぶら下つた以來、今夜が初見参こ云ふ譯だが、君の艶人もいやはや昨今は甚だお氣の毒見たやうな次第でね。』と、櫻井は、もう顔を視るより早く、油紙へ火の付いたやうにべらべら。

若龍は『それごころぢやありません』と、云ひたさうに口を緘んだなりで、櫻井の前へ投げ出すやうに座を占めたが、

『小龍さん、御挨拶は後の事にするから、お猪口を一ッ頂戴。』と、當て付けるやうな見幕の鉾さきには櫻井も小龍も、一寸度膽をぬかれた。

人蔘ミルクキャラメル

京夜吟（其の十三）

夏の月

門を蔽ふ巨桐甘き香や夏の月　雉子郎
友待つに潮高く夏の月丸し　同
地下室の花冷ゆる窓や夏の月　草緑
紘の鉢に紅濃き花や夏の月　迦南
病院へ去ぬ人送る夏の月　容堂
夏月や暗く灯して家なし　田打夫
夜の風に海なき國の月凉し　白風
山莊清風夏の月夜の客淋し　曙黄子

日燒

別墅守日に燒けて驛に迎へけり　雉子郎
漁夫の子の中に日燒けて我子かな　同
日燒人の袴佗しき法會かな　水子
狹き庭の花やかや夏の月　紫光
日に燒けし官服の人や驢馬の上　青丘
川風に向ひて耕す日燒人　田打夫
日燒兒の入りて去りし客間かな　容堂
日燒兒の入つて去りし客間かな　關川子
雨一日海忘れ遊ぶ日燒人　曙黄子

文藝界

▲河東碧梧桐氏　支那漫遊中の同氏はこの程濟南に遊び曲阜泰山に遊び近く青島に赴くべしと、尚歸途は朝鮮にさるべき豫定なりと

▲八木奘三郎氏（考古家）十日夜出發關東都督府へ赴任

日報俳壇

春季雜詠　　宵柿

アク抜けし獸の中なる社の灯　同
鶴鳴くや霧の中なる社の灯　同
池に浮べる家鴨の群や春の風　同
雨晴れて木の芽に光る雫かな　同
硝子戸に柳影織る夕日かな　同
眼迫かに芽麥光るや春の風　同
岩に燃ゆる蔦の若芽や春の雨　同
水温む桶に餘るや鯉の鰭　同
濁の千鳥の温き日や動き居り　他山石
行春を松領に默す古刹かな　同
夕べ淋し庭の春草るなり　同
山陵の石黯く尖り春の雷　同
風雲の走る夕野や鳴く雲雀　同
雲雀落ちて暮色冷たき渡し哉　同
吟行の裾埃る路や花菜風　同
朝風にはためく酒旗や春の雷　同
技、影搖るゝ小窓や鳥交る　同
葉柳や川床高く片流れ　同
町なづむ頃立ち去るや夏柳　同
午の雲湧けば靄搔く夏柳　同
葉柳や寛に打たせある馬糧桶　同
葉柳や大河陷てゝ小家がち　水子
葉柳や騎り越せ霞ふ谷の橋　雁子
提灯を運び廻る蟲や夏柳　南星
葉柳や日から釣に疲れし眼　北星
夏柳工事石日々に運ばるる　青瓦
人の家に凝つかる風の夏柳　容堂
濁水に並びおほれし柳かな　白風
葉柳の河岸こる灯や舟上下　閒丘
灯る頃は人たつ岸や夏柳　青緑
苞人に夜涼烈しき夏柳　草子
葉柳や濁水に遠く柱の灯　曙黄子

□草月鈔　　瓦青

蝸蟲群の風及ぶ鉢樹蚊喰鳥
外濠の飯炊ゆる清水日の出哉
麥秋の皿井戸に粉虫動き居る
△
水汲し新に火戻り居るや蚊喰鳥
濾桶鬮り眼細め囀ませ在る蚊喰鳥
旭さす清水汲きわけた來し芥かな
喪家の灯なほ出づ麥秋明けて　　爪

讀者の領分

▲『妻の心』愛讀者君い　君の境遇に同情します　只君の勸めの總てに對して忠實たれ、然らば機會は廻り來らん、至誠の天に通ずる時のなからんや　君の誠意稚子夫人の誠意たるの時（エービー生）

▲琴狂様に答へます　半紙にてお差支なくばお貸し致しても宜しく又御讓り致しても宜しく　住所氏名を以て御通知願升［相談人］

▲右樂舘は確に他舘に比して一頭地を抜て居る　館長物内部外に苦樂部の完備近來は寫眞も西洋物專門になる（？）の最も好む處であろ　同時に斯んだ希望を添して貰ひ度い　連續寫眞の一週四巻位は餘にアッケ無さ過ぎる　少くとも六巻か七巻にして欲しい　今度上場した自動車成金の如き平凡な物は少し注意！

▲若い大切の芝劇は最少し稽古して貰ひ度い　病のない親子で見ても顔を赤めた夏向きのアッサリしたのが望ましい　終りにシーツが近來雑だらけなので氣になつていけぬ（愛讀）

▲西大門運香生君　池町少女質問一件だが、あの種の質問に對しては責任を以つて答ふべきだらう。好い加減に問答なんか引張り出して數へたんぢやあ答ふ方が迷惑する、あの藥は皮膚に刺戟を與へず害なく知らないのか、君が實際自分で用ひて見て必ず癒るといふ事を保證し得る藥か知何［釜山刃物生］

▲日本種可愛盛りの犬の仔四匹居りますが御入用の方はございませんか至急御知らせ下さいませ（電話七六二南山町三の三六山口）

▲職員連が稼業に釣漁に將た私用に無賃乘車徒を濫用して列車内の坐席を我物顔に占領する者間々これあるは眞に苦々しく少しは公衆を思ひ又た會社を思へ　致て監督者流に訴ふ［一株主］

▲軍司令部の方に御待れ申候小生は交通工兵に候が去る五月中に本籍地に於て徴兵檢査を受けて合格し第一補充兵と相成り候 本年の演習は何時に召集致され候哉（交通兵）

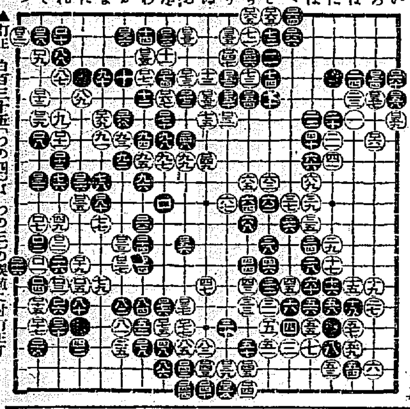
▲呼の方は許可得難致し候得共演習の分は交通兵の故を以て延期致されし……を以て點呼は直ちに屆出て演習の分は其の筋屆出ですぐ……未だ不安に堪へざるに付……非何卒御欄にて御教示を願上候（孫價工兵交通兵）

碁戦（九）

（大正七年六月二十三日　京城日報主催於開碁會）

四段　喜多文子
四子　鮎貝房之進

○一六一　ろ七　い
●一六二　わ十一　ろ
○一六三　と一　は
●一六四　へ一　に
○一六五　ち一　ほ
●一六六　へ二　へ
○一六七　を五　と
●一六八　か六　ち
○一六九　よ六　り
●一七〇　を六　ぬ
○一七一　わ四　る
●一七二　ろ五　を
○一七三　ろ四　わ
●一七四　を四　か
○一七五　を十六　よ
●一七六　を十五　た
○一七七　ろ十六　れ
●一七八　わ十七　そ
○一七九　劫とる
●一八〇　よ十　つ



▲訂正　白百三十五（わの四）はわの三の誤植に付訂正す

新刊紹介（到著順）

▲露西亞評論（一〇五）我國の對露政策の一要點、露國の革命と其將來二つの道、露國劉下の財政及び經濟狀態、ロシア漫罪其他露西亞傳說俗諺の研究、小説百姓に扮した貴族の娘等（二十五錢東京赤坂丹後町五進文館）
▲鮮滿の工業（七月號）二十五錢京城旭町一〇七一共社
▲判例公論（一の五）二十五錢東京下谷仲徒町三の一六帝國判例公論社
▲海友（九十八）二十五錢大連寺内通二大連海務協會
▲東亞之光（三の七）二十六錢東京小石川原町七八東亞協會
▲經濟資料（四の七）二十五錢東京麹町區有樂町一の一東亞經濟調査局
▲實生活（七月號）十三錢東京芝伊皿子町四二共社
▲都會及農村（七月號）十八錢東京麹町區平河町五の廿六斎陽堂
▲現代の園藝（七月號）三十五錢東京赤坂青山南町二の四十共社
▲ジャパンタイムス學生號（七の四）十三錢東京麹町内幸町一の四同出版所
▲學友會誌（二三）非賣品京都帝國大學々友會發行
▲國民總努力（宮坂世睿）非賣品東京々橋南槇町一七浩洋社發行
▲ミツワ文庫（七月號）十錢東京日本橋橘町四の一五同發行所
▲宗報（二〇二）五錢京都烏丸通七條上ル大谷派本願寺々務所内宗報發行所
▲家庭のローマ字（七月號）七錢東京麹町區有樂町一の三ローマ字ひろめ會
▲住宅（三の七）十錢東京芝琴平町一住宅改良會
▲婦人週報（四の二六）五錢東京牛込市ヶ谷田町二の一七共社

皮黴科
皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器病　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町二丁目）
佐藤醫院（電話一一七三番）

新式　魔法瓶
△圓筒形　三合入　金一圓九十錢　四合入　金二圓三十錢　五合入　金三圓四十錢
△水筒形　三合入　金貳圓三十錢　四合入　金貳圓六十錢
送料　鮮内二十四錢　鮮外四十五錢
京城太平通　京城日報代理部　電話六〇〇九番　振替京城三〇〇番

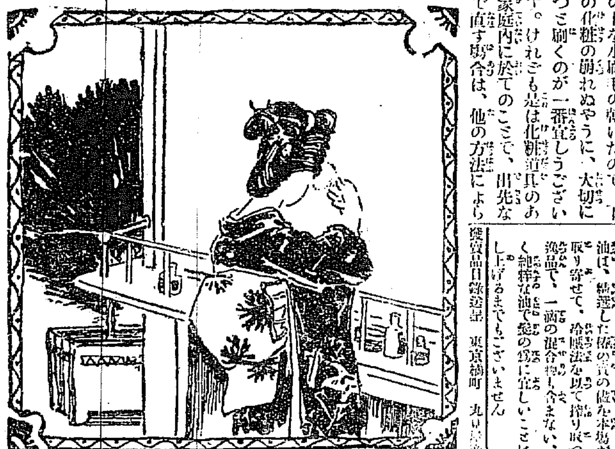
ミツワ文庫七の七

夏の化粧くづれ

家庭に於ての直し方
出先に於ての直し方

中村福助談

御婦人方が暑中一番お困りになるのは、化粧くづれでございます。夏に限らず長く時間の立つうちには、多少化粧くづれはしたがるものですが、殊に暑中は汗が出ますために一層苦勞になるものでございます。この化粧くづれを直しますには、初め顔面ににじんで居る汗や脂を、脂取紙またはハンケチで、上から押へるやうに拭きこりました後、水白粉の上水ぐらゐの濃さの白粉を、板刷毛につけて、下地の化粧の崩れぬやうに、大切にその上を水刷毛の乾いたので、そつこ刷くのが一番宜しうございます。けれごも是は化粧道具のある家庭内に於てのことで、出先などで直す場合は、他の方法によらなければなりません。それには先づ、汗や脂をよく拭き取りまして後、濃化粧でしたら携帶用の打白粉で、粉で手加減しながら輕く叩きますこ、元通りに美しい化粧を保たせることが出來ます。また薄化粧でしたら、携帶用の隱し化粧の方を使つて、輕く叩いて拭いて置けば化粧くづれを元通りに直すことが出來ます。ここで化粧くづれはちよつこの隙を見て、直す場合が多いのですに、肝腎の地肌が綺麗に整つて居りませんこ、白粉がはじけたり、斑になつたりして、氣ばかりいらいらして思ふやうに行きません。そこで初めてお化粧は先づ地肌から整へてかゝらなければならないものだこいふことを、ツクヅク感じるものでございます。私共の實驗から、地肌を整へる最良の方法こ信じますのは、毎朝の洗面、毎日の入浴に、日本人の皮膚のためになるやうに出來て居るミツワ石鹸を御專用なさいますのが一番です。洗顔で申しますならば、洗面盤の中へ泄へた湯水で、兩の頬、額、頸、鼻、耳の裏、襟皮膚を庇ふやうな心持で靜かに撫でますこ、汗や汚垢は一切泡沫に混じつてしまひますから、そこを清水で洗ひ流しますこ、汚垢はすつかり落ち去りして、肌膚の營養は助けられ、機能は健かになつて、それは大は見事な色艶になりますが、これが濟みましたならば、濡れ手拭で拭きました後のミツワ雪の素を塗つて、あこをそつこ拭つて置きますこ、素顔で見ても美しく、お化粧を施せば、水際立つて麗はしい肌膚になります。



▲中村福助丈曰く　頭髪は毎日朝晩二回位づつ梳つて東油して置けば、頭髪に成育の要素を與へることが必要です。用ひます油としましては、何と申しましても、ミツワ椿油ぐらゐ信用の出來る品はございません。このミツワ椿油は、精選した椿の實の儘を本場から取り寄せて、冷壓法を以て搾り取つた逸品で、一滴の混合物も含まない、極く純粹な油で髪の爲に宜しいことは申し上げるまでもございません

發賣元　日本橋區　東京橘町　丸見屋商店

家庭治療法　醫學士小山田□著　定價金五十錢
本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧親切に敎へ、醫師にかゝるまでの相談相手こなるものである。定價金五十錢。但し半額（郵券代用不苦）を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區通一丁目　丸見屋商店（振替東京七一〇番）

藥草 淫羊藿エキス

定價　二十瓦入金壹圓　三十五瓦入金壹圓五十錢　四十五瓦入金貳圓　五十五瓦入金貳圓三十錢
送料　鮮内二錢　鮮外三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙[illegible]る効驗ありこ支那朝鮮兩國人に愛用されしが産出一地方に限られて彼の高麗人蔘の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の効驗は遙かに人蔘を凌駕すこて醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥劑家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも強壯劑こして將亦精力增進劑こして有効なるここを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書により其の効能の顯著なるは明白なりこ雖も何如なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人蔘こ同じく明白ならざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失こ思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスこなしたるものなり

主治
一 神經衰弱症　一 胃腸病　一 ヒステリー
一 貧血症　一 腎臟病　一 ヒポコンデリー
效能
一 腎臟病　一 生殖器病　一 老衰
一 肝臟病　一 リウマチス　一 精力減退

以上に依り適應症左の如し
一、精力を盛んにし精神を爽かにし體力を增し元氣を良くす
二、思考判斷及記憶力の減耗を癒す
三、讀書計算の疲勞を癒す
四、安眠し亦眼の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及便通を良くす
七、産前産後及病後の衰弱に良し
八、血の道氣鬱症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒し營養を良くす
十一、手足腰腹の冷ゆるに良し
十二、陰萎遺精及子宮病に良し
十三、痳病に良し
十四、長壽なるべし

用法及服量　一日半グラム乃至一瓦を溫湯に溶解し若くはオブラートに包みて飲用す
注意　空腹の時飲用するを良しこす。エキスは香氣苦味を併有す清酒にて呑下すれば樂なり。本劑は少くこも一ヶ月以上繼續して服用すべし然らざれば効果少し。六ヶ月以上に至り効能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラムは大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金（京城日報代理部　振替京城三〇〇番へ）拂込み通信欄にて御注文の事に申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損こ相成可申候
▲價格五十圓以上一時に御注文の方へは一割の特別割引を可致候
▲本藥取次販賣の御希望有之候はゞ御相談可申上候

全國一手販賣　京城太平通り　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番構內十八番・振替京城三〇〇番
京城特約店　山岸天佑堂　北島支店

新荷著　スイス製　懐中時計
懐中時計（アンケル機械）（▲印はラヂューム入）
ニッケル側　十八型　二、五〇〇　片蓋アンクル
腕卷時計（▲印はラヂューム付）
金側・銀側・ニッケル側　各種　三百五十圓迄
右は今回新荷着の商品にして他に時計・蓄音器・ミシン機・自轉車・洋酒各國貨直輸入商
御注文は代金引換又は小包郵便にて地方への御便宜を圖り申候
京城本町二丁目　インゲレッシー商會　電九七三

贊化病院
京城明治町一丁目　電話二四〇番
醫學博士　古城憲治
內科　小兒科　入院隨意
毎日五名を限り無料施療す

京城龍山各地に偽物有御注意

りん病ばい毒　專賣藥
わにせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に於て……ドラッグの名を附せるもの……必ず本舗の……
京城南大門外　ドラッグ商會
花柳病專門藥房　ドラッグ商會　本部

京城黃金町三丁目　大阪ドラッグ商會　支店

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津牛莊行
相模丸　七月十九日
田川丸　七月十一日　船客御斷
×高砂丸　七月廿九日
仁川海岸町二丁目（電話十番）　堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
大連直行（關東都督府命令航路）
共同丸　七月十二日　前出港
廿一共同丸　七月十三日　後入港
仁川代理店　仁川本町四丁目　阿波共同汽船株式會社
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　南大門通　河村運送店

釜山出帆廣告
◎元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三蓬萊丸　七月十五日後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行　佐渡丸　七月十五日後四時出
◎木浦、須崎、博多行　天草丸　七月十四日後十時出
釜山港埋立新町本船取扱　大池回漕部

大阪商船出帆
神戸大阪行（仁川出帆）　安東丸　七月廿一日　後五時出
×群山大阪行　安東丸　七月十三日　正午出
◎清津行（元山出帆）　平安丸　七月十三日　後十二時
◎釜山門司宇品神戸大阪行　安平丸　七月十九日　後九時
上海打狗行（大連出帆）　基隆丸　七月廿一日　前六時
北陸丸　七月廿四日　後四時出
內地各港出帆主要航路

尼崎汽船仁川出帆
第一大運丸　大阪直行
下關、神戸、大阪行
群山丸
仁川海岸通二丁目（電話五九番）　高彬回漕部

朝鮮郵船出帆
敦賀行・清津・城津・元山經由
平壌丸　七月十二日
越後丸　七月十七日
雄基行　×城津經由
釜山浦項線
濟州島行
多島海行
木浦行
本社　京城南大門通　電話一九五三
其他各港地に御取扱店あり

▲孟買近情
▲今度の棉花